

平成 24 年度

事業報告書

「忠恕・敬愛・感謝」

社会福祉法人 芳清会

## 目次

I 総務課	1
II 事業部	2
〔1〕 各種委員会・会議等	2
〔2〕 研修	5
1. 外部研修	5
2. 内部研修	7
〔3〕 年間行事	7
〔4〕 アクティビティ	8
〔5〕 実習・見学等	11
1. 実習・研修受け入れ	11
2. 一般の見学	11
〔6〕 ボランティア	12
〔7〕 医務室	12
〔8〕 栄養	18
〔9〕 特別養護老人ホーム	32
1. 在籍	32
2. 退居	33
3. 新規入居	33
4. 入居申し込みと待機者状況	34
5. 入院実績	34
6. 受診実績	35
7. 要介護度推移	38
8. 平均年齢推移	38
9. 収入段階、利用料	39
10. 外出	39
11. 外泊	39
12. 面会	39
13. 相談員の業務を振り返って	40
14. その他	40
15. 2階	41
16. 3階	44
17. 4階	46
〔10〕 デイサービス	47
〔11〕 ショートステイ	50
〔12〕 居宅介護支援事業所	53
〔13〕 ヘルパーステーション	53

## 1. 総務課

### 〔1〕 【自衛消防訓練等】

#### 1. 第1回目

日 時 平成24年9月14日 午後2時から午後4時

内 容 総合訓練（避難・通報・消火）

参加人数 約30名（職員・入居者・利用者）

届出関係 川越消防署届出

#### 2. 第2回目

日 時 平成25年2月19日 午後2時から午後3時

内 容 総合訓練（避難・消火・夜間想定）

参加人数 約30名（職員・入居者・利用者）

届出関係 川越消防署届出

### 〔2〕 【職員健康診断】

#### 1. 第1回目

日 時 平成24年8月22日・23日 午前9時から午後0時

内 容 全職員対象

受診人数 107名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

健診内容 問診・聴診・身長・体重・腹囲・視力・聴力・血圧・心電図・胸部X P（間接撮影）・尿検査（糖・蛋白・ウロビリノーゲン・潜血）・抹消血液一般（白血球数・赤血球数・血色素量・ヘマトクリット）・GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP・総コレステロール・HDL-コレステロール・中性脂肪・血糖・ヘモグロビンA1C

#### 2. 第2回目

日 時 平成25年2月22日 午前9時から午後0時

内 容 夜勤職員対象

受診人数 57名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

健診内容 問診・聴診・身長・体重・腹囲・視力・聴力・血圧・心電図・胸部X P（間接撮影）・尿検査（糖・蛋白・ウロビリノーゲン・潜血）・抹消血液一般（白血球数・赤血球数・血色素量・ヘマトクリット）・GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP・総コレステロール・HDL-コレステロール・中性脂肪・血糖・ヘモグロビンA1C

## Ⅱ 事業部

### 〔1〕各種委員会・会議等

#### 1. 衛生管理委員会

産業医の指導の下、入居者様や介護従事者の健康管理について検討を行った。特にインフルエンザやノロウイルスなどの感染症については情報の共有を徹底し、発生・感染しないように加湿や手洗い方法、症状が見られた際の早めの対応等の体制を検討し、整えた。

また従業員の健康診断を実施し、その結果についても再検診等の指導を行った。

#### 2. 苦情対策委員会

今年度の苦情の申し出（ご意見）は6件あった。介護職員の対応や、利用時間の相違、誤請求等についてのご意見であった。それぞれについて委員会内にて報告し、職員間で会議の場を設け、今後の対応について検討した。申し出者へは、謝罪と改善についての報告を行った。

#### 3. 事故・身体拘束防止委員会

今年度発生事故件数は、合計121件であった。（前年度より21件増）

事業所別に見ると、デイサービス6件、ショートステイ20件、特養89件（2階・17件、3階・40件、4階・32件）医務6件であった。事故内容は、転倒や車椅子からのずり落ち等による打撲や裂傷が80件と最も多く、骨折事故も発生してしまった。委員会では、それぞれの事故についての原因究明と再発防止に努め、全職員が統一した認識を持って事故防止に取り組めるよう、施設内で起きた全ての事例を、全ての部署で確認できるようにした。

ヒヤリハットについては大きな事故につながらなかったものの、231件（前年度より23件増）と多く、それらについても情報を共有し、対応策を検討した。

今年度も引き続き、お一人お一人の予測される事故の「事故リスク一覧」を作成し、3ヶ月に一度の見直しを行った。

#### 4. 褥瘡対策委員会

現在褥瘡が発症している方の状態報告と、褥瘡になる可能性がある方について、看護師と介護職が情報を共有して改善策を検討した。取り組みの効果も見られ、入居時に褥瘡があった方も、完治に近い状態まで回復した。

#### 5. 排泄委員会

「おむつゼロ」への取り組みで、排泄習慣の確認や排便状況の情報収集を行った。おむつ使用量の減少や、下剤使用量の減少など、一定の成果が見られた。今後も施設職員が一体となり、より良い排泄介助、より良い介護の提供へと取り組んでいく。

## 6. 医療的ケア安全対策委員会

認定特定行為業務従事者登録を行った介護職員が、看護師の指導にて安全に医療的ケアが行えるよう、その仕組みや方法について検討した。

## 7. ケアプラン会議

### ア) カンファレンスの開催

6ヶ月毎にケアプラン会議を開催し、全入居者様のケアプランを作成した。アセスメントについては、施設独自の表を使い、それぞれの担当職員と他職種間で意見交換を行い作成した。また、更新や区分変更で要介護度が変更になった際や、入退院等で心身状態が大きく変化した際も臨時で会議を開催し、プランの変更を行った。作成したケアプランはご家族に送付し、署名を頂いた。

	会議件数		会議件数		会議件数
4月	14	9月	16	2月	17
5月	22	10月	17	3月	21
6月	12	11月	15		
7月	11	12月	18		
8月	16	1月	17	合計	196

### イ) 看取り介護

今年度は4名の方の看取り介護に取り組んだ。随時の情報交換、情報共有を徹底し、ご家族を交えた話し合いの中で、その都度看取り介護体制の整備に努めた。また、看取り介護を終えた方については後の振り返りの中で、看取り介護についての体制作り、心構えを改めて確認した。

今後は看取り介護に取り組む機会が増えていくと思われるので、ご家族や医師、各職種間で協力して取り組んでいきたい。

## 8. 入居検討委員会

第三者委員が参加し、本年度は11回開催された。

開催日 4月23日、6月21日、7月23日、8月23日、9月24日、

10月24日、11月21日、12月12日、1月21日、2月15日、3月21日

今年度も措置入居の事例はなく、申込書の記入内容と相談内容により、県の優先順位の規定に基づき検討した事が確認されている。

## 9. 入居判定会議

今年度の新規入居は20件であった。その都度、入居申込者の中から優先順位の高い方の面談調査を行い、ご家族の意向とご本人の状態を基に、各フロアでの対応と生活介護上の課題について検討し、会議で検討された方は全員入居可となった。

## 10. 入居者自治会

各階からの入居者代表委員は、体調を考慮しながら出席を頂いている。次月の予定表をお渡しして、日頃の疑問点やご意見、ご要望をお話されている。

毎月、第3月曜日10時30分からの定例会として、合計12回開催された。

開催日	主な内容
4月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おしぼりの変更に関するご意見（布→紙に変更）衛生面、使い勝手、温度等についての問い合わせ。</li> <li>→施設全体でも検討、考慮、確認していく。（特養）</li> </ul>
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電の協力に対するご意見（感謝と、需給状態連絡確認）</li> <li>・書道教室開催に対する希望→今後も開催継続と日程連絡、検討</li> <li>・希望食に関するご意見（今後も考慮してほしい。）</li> <li>→今後も希望を取り入れ、献立の検討、工夫していく。（栄養）</li> </ul>
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテン（植物）の種類に対するご意見（ヘチマ等）</li> <li>→現在はゴーヤ、朝顔が主となっている。検討継続。</li> <li>・あんかけ、トロミの料理が多くなっているのではないか。</li> <li>→今後もお体の状態を考慮して、栄養、調理で工夫していく。</li> </ul>
7月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝晩の窓の開閉による室温調整についてはどうか。</li> <li>→天気、外気温を考慮し対応していく。（特養）</li> <li>・害虫（ハエ・蚊・虫）の駆除、対応はどうなっているか。</li> <li>→定期的に調査、駆除行っている。気づいた点は連絡。（特養）</li> </ul>
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雷雨、停電時のテレビ等の電源復旧についてはどうか。</li> <li>→復旧予定、連絡を早めに行っていく。（特養）</li> <li>・とろろ芋の献立が、大変美味しい、今後も検討。</li> <li>→献立に反映できる様、考慮していく。（栄養）</li> </ul>
9月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の鉢の寄せ植えが大変良かった。今後検討してはどうか。</li> <li>→考慮、企画していく。（特養）</li> <li>・副食の小鉢の量が少ないのではないか。</li> <li>→身体状態を考慮しながら、具材、献立により考慮していく（栄養）</li> </ul>
10月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りのメニュー（焼きそば、焼き鳥、お寿司等）は大変美味しい。</li> <li>→今後も意見を取り入れて検討していく。（栄養）。</li> <li>・天ぷらの具材についてはどうか（カボチャ、菊の葉、よもぎの葉、茸等）</li> <li>→状態、季節を考慮して検討していく。（栄養）</li> </ul>
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手洗いの中の清潔、温度について適時確認されてはどうか。</li> <li>→施設、職員間で状態確認していく。（特養）</li> <li>・施設内禁煙について、徹底、通達されたい。</li> <li>→今後も周知、確認していく。（特養）</li> </ul>

12月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末の床、フロア清掃時の養生についてどうか。（位置の変更等） →職員の日々確認、衣類の調整、温度調整。（特養）</li> <li>・初詣の外出予定についてはどうか。 →ユニット、フロアの予定の連絡、確認を行っていく。（特養）</li> </ul>
1月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室、フロアの温度設定についての対応はどうか。 →衣類の調整、居室の温度確認に留意。（特養）</li> <li>・煮魚の味付けに大変満足している。→今後も工夫。（栄養）</li> </ul>
2月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汁物の温度管理について。 →今後も提供時間、調理方法、素材等も含め、検討、確認していく。</li> <li>・居室内のトイレ設置についての検討はどうか。 →ポータブルトイレ設置可。（特養）</li> </ul>
3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パン食の献立は大変美味しい。今後も考慮してはどうか。 →希望食、意見をうかがいながら、献立に活かす。（栄養）</li> <li>・パン食の副菜の内容を考慮されてはどうか。（和食の副菜） →具材、調理方法、考慮していく。</li> </ul>

## 〔2〕研修

### 1. 外部研修

研修日	研修名	参加者
4月19日 5月7日 5月22日	介護認定審査会委員新規者研修	1名
5月15日	全国個室ユニット型施設推進協議会総会	1名
5月25日	施設ボランティア意見交換会	1名
6月13日 6月20日	情報管理研修	2名
6月28日	平成24年度集団指導	4名
6月25日 6月26日	社会福祉施設・新任職員研修	1名
6月26日	感染症基礎研修	1名
7月9日 ~7月13日	民間社会福祉施設介護職員合宿研修会	1名
7月25日	埼玉県老人福祉施設協議会デイサービス部会研修会	1名
7月28日	デイサービス事業所サービス会議	1名
8月4日	介護スキルアップセミナー	1名
8月18日	デイサービス事業所サービス会議	1名

8月20日	社会福祉施設における労働災害防止対策等の説明会	1名
9月19日	川越市デイサービス連絡協議会定例会	2名
9月24日	中堅職員研修会	17名
10月25日	担当圏域包括ケア会議・ケアマネ情報交換会	1名
10月29日	ノロウイルス感染防止研修会	1名
10月30日	地域連携会議「まるごとネット」	4名
10月31日	中堅職員研修会	17名
11月8日	ケアマネ情報交換会	2名
11月9日	成年後見セミナー	1名
11月15日	ケアマネ情報交換会	3名
11月30日	中堅職員研修会	17名
12月6日	福祉施設における感染症対策について	3名
12月11日 12月26日	介護支援専門員ステップアップ研修	1名
12月18日	デイサービス生活相談員・役割と業務の基本	1名
12月19日	中堅職員研修会	17名
1月23日	「おむつゼロ」運動への取り組みについて	2名
1月26日	褥瘡対策パワーアップセミナー	2名
1月29日	埼玉県老施協入間東支部研修会 「介護保険の基準の読みこなしと解釈」 「介護保険の基準の読みこなしと解釈」	3名
2月2日	老人福祉施設栄養士情報連絡会	1名
2月20日	「福祉レクリエーション企画の立て方」	1名
2月27日	中堅職員研修会	17名
3月4日	中堅職員研修会	17名
3月22日	介護職のための接遇・マナー研修	2名

## 2. 内部研修

研修日	研修内容	講師（報告者）	参加人数
4月26日	新任職員研修	理事長、施設長、 総務部長、特養所長	6名
6月1日	救急対応研修会	日向	19名
6月4日	救急対応研修会	日向	23名
6月6日	救急対応研修会	日向	20名
6月18日	水分補給について	大塚製薬様	25名



6月19日	事故防止研修会	特養所長	25名
6月20日	救命法研修会	日向	16名
7月3日	感染症研修会	日向	25名
9月4日	高齢者虐待防止研修会	特養所長	28名
9月5日 ~9月19日	入浴事故防止研修会	各階主任	52名
9月21日	看取り介護研修会	日向	17名
10月16日	褥瘡予防研修会	褥瘡予防委員	26名
11月20日	感染症研修会	寺戸	25名
11月22日	新任職員研修	理事長、施設長、 総務部長、特養所長	8名
12月18日	事故防止研修会	日向、岡田	25名
3月19日	看取り介護研修会	鈴木	23名

### 〔3〕年間行事

月 日	行事名	行事内容
4月上旬	お花見	日東団地周辺、上奥富運動公園、水上公園等
5月19日	お買い物会	入居者様が日常生活の中で、買い物の雰囲気を楽しんで頂き、交流の場所として、30人程がご家族とともに参加された。
6月14日	収穫祭 (梅狩り)	特養の入居者様20名が参加され、大きな梅の実を約30kg収穫し、収穫した梅の実は、梅酒、梅ジュース、梅干しを作った。
9月9日	敬老会	敬老会を開催した。古希から百五賀まで、33名の入居者様が表彰を受け、85名のご家族にも参加して頂き、表彰式、ボランティアの方々の催し、昼食会を楽しまれた。
10月7日	八瀬の里祭り	あいにくの雨模様の中、屋内での吹奏楽演奏で開始となる。恒例の和太鼓、お囃子、模擬店開催と、賑やかなお祭りを味わって頂いた。 85名のご家族も来所され、最後は参加者全員で風船を飛ばして終了となった。
1月14日	お買い物会	1階交流ホールにて、冬物と春物の衣料品を中心に、福祉用品等の販売会を開催した。 大雪が影響し、来所予定のご家族も来所できなくなり、参加人数は極端に少なかった。

〔4〕 アクティビティ

各ユニットで企画された、季節に応じたアクティビティが、下記の通りに実施された。

表 1. 実施アクティビティ一覧

実施日	参加人数	「食」関連	誕生会	季節関連	買い物、行き先	行き先の地域資源
4月	8		誕生会			
	8		誕生会			
	32			音楽レク		
	6	昼食会		豆腐料理		
5月	8		誕生会			
	8	昼食会		寿司		
	8		誕生会			
	32			音楽レク		ボランティア
6月	6	おやつレク				
	7	昼食会（寿司）				
	7	おやつレク				
	32			音楽レク		ボランティア
	7	おやつレク		季節の果物		
7月	6		誕生会			
	8		誕生会			
	13	おやつレク		どら焼き		
	8	おやつレク		たこ焼き		
	32		誕生会			
	32			音楽レク		ボランティア
	16	昼食会		お好み焼き		
	32	おやつレク		かき氷		
8月	28	おやつレク		かき氷		
	8	おやつレク		白玉団子		
	13	ユニットレク		花火他		
	16	おやつレク		かき氷		
	32			音楽レク		ボランティア
	8		誕生会			
	24	ユニットレク		花火他		
	15		誕生会			
9月	16	昼食会		お好み焼き		
10月	14		誕生会			

	7	昼食会		寿司		
	7	おやつレク		タコ焼き		
11月	8		誕生会			
	15		誕生会			
	8		誕生会			
	7		誕生会			
	12月	14		誕生会		
	30			音楽レク		ボランティア
	8		誕生会			
	32	クリスマス会	歌・ゲーム			
1月	8		誕生会			
	16		誕生会			
	8		誕生会			
	16		誕生会			
	8		誕生会			
	10		誕生会			
2月	8		誕生会			
	7		誕生会			
	16		誕生会			
	16		誕生会			
	8	おやつレク		タコ焼き		
	31	おやつレク		お茶会		
3月	7		誕生会			
	6		誕生会			
	8		誕生会			
	8		誕生会			

表2. アクティビティ参加人数

月	件数	参加人数(名)	食関連	誕生会	季節関連	買物	交流
4	4	56	8	16	0	0	32
5	3	56	8	16	0	0	32
6	5	59	27	0	0	0	32
7	8	147	37	46	32	0	32
8	8	144	8	47	57	0	32
9	1	16	16	0	0	0	0
10	3	28	14	14	0	0	0
11	4	38	0	38	0	0	0
12	4	84	0	22	32	0	30
1	6	71	0	71	0	0	0
2	6	86	8	47	0	0	31
3	4	29	0	29	0	0	0
合計	56	814	126	346	121	0	221

表3. 階別アクティビティ回数

	施設内	外出	合計
2階	23件	7件	30件
3階	18件	1件	19件
4階	15件	1件	16件
合計	56件	9件	65件

〔5〕実習・見学等

1. 実習・研修受入

項目	実習日時	人数	内容・目的
川越市第8地区民生委員 児童委員視察研修	4月20日	15名	視察を通して知識を深める。
市立小・中学校5年経験者 研修	8月16,17,23日	2名	他者への思いやりの心や公共心を深めるとともに、福祉分野に係わる学校教育以外の社会に視野を広げる。
狭山市立中央中学校 福祉体験活動	11月20日	6名	福祉について関心を高め、自分ならどんなことができるのか、相手の立場に立って接するにはどう

			すればよいかなどを学ぶ。
大東西小学校 JRC 活動	12月5日	23名	リコーダーの演奏や、コマ回し、紙芝居、折り紙、けん玉等を披露し、子供たちとの交流を図る。
大東西中学校訪問交流会	12月20日	60名	中学校の生徒たちの訪問にて歌や踊りの出し物等の披露を楽しんで頂き、地域交流を図る。
川越市立大東西中学校 社会体験学習	1月22, 23, 24日	3名	学校では得られない経験を通して、豊かな感性や社会性、自立心を養い、豊かに生きる力を育む。
川越市立大東中学校 社会体験学習	2月18, 19, 20日	4名	学校では得られない経験を通して、豊かな感性や社会性、自立心を養い、豊かに生きる力を育む。
計	8件	113名	

## 2. 一般の見学

月	件数	人数(名)	月	件数	人数(名)
4月	7	10	10月	6	10
5月	6	9	11月	7	13
6月	3	6	12月	2	3
7月	2	3	1月	7	14
8月	3	5	2月	2	3
9月	7	10	3月	3	7
			合計	55件	93名

### 〔6〕ボランティア

月	件数	詳細
	人数	
4月	16件	書道、コーヒー喫茶、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、紙芝居、オカリナ演奏、傾聴
	34人	
5月	17件	書道、コーヒー喫茶、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、紙芝居、ミニコンサート、傾聴
	31人	
6月	17件	書道、コーヒー喫茶、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、ミニコンサート、傾聴
	36人	
7月	19件	書道、コーヒー喫茶、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、大正琴、傾聴
	32人	

8月	16件	書道、コーヒー喫茶、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、ミニコンサート、傾聴
	30人	
9月	18件	書道、コーヒー喫茶、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、紙芝居、傾聴
	33人	
10月	25件	書道、コーヒー喫茶、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、オカリナ演奏、傾聴、八瀬の里祭
	57人	
11月	17件	書道、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、紙芝居、傾聴、
	25人	
12月	22件	書道、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、ミニコンサート、傾聴
	38人	
1月	15件	書道、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、紙芝居、傾聴
	32人	
2月	20件	書道、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、傾聴
	32人	
3月	13件	書道、ウクレレとハーモニカ演奏、歌、舞踊、傾聴
	21人	
合計	215件	
	401人	

## 〔7〕 医務室

医務室主任

『健康管理』に伴う基本方針」に基づき、入居者様および利用者様に対し健康管理および医療処置を行った。

### 「健康管理」に伴う基本方針

- ・ 入居者様の生活に障害となる疾病や症状に対して、健康面からの管理を行った。如何にその人らしく生活出来るかの可能性を探り、入居者様自身がどんな生活を望んでいるかという視点で、入居者様が毎日の生活を快適に過ごすことが出来るようサポートしていった。
- ・ 特に疾病予防医療に重点を置き、どんな方法を使えば状態を維持出来るか、あるいは、苦痛無く回復出来るかを検討し、他の職種間との協働で健康管理サービスを提供した。
- ・ それぞれの入居者様の意思（ライフスタイル）を尊重し、入居者様自身、また、ご家族がどのような最期を望んでいるかを把握し、入居者様のリビングウィルに対応した健康管理サービス（医療処置）を提供した。

### 1. 予防医療

#### ア. 入居者様の健康状態の把握

- (1) 介護職者の報告を把握し、ユニット訪問による入居者様の健康状態の把握に努めた。
- (2) 毎日の排便をチェックし、下剤を調節して食物繊維や水分の摂取を促し、坐薬、浣腸等での排便のコントロールを行った。

#### イ. 医療機関および医師による検診の実施

- (1) 川越市に住所のある入居者様 90 名（入院者 4 名、希望なし 2 名を除く）に対し、帯津三敬病院の医師および看護師が八瀬の里に出張して健康診断を実施した。
  - ・ 実施日：平成 24 年 10 月 10 日
- (2) 入居後間もない入居者様については、入居前に健康診断を実施済みのため、受検を省略した。
- (3) 週 1 回、配置医の回診を実施し、異常の早期発見に努めた。

#### ウ. 流行性疾病蔓延の予防

- (1) 今年度は肺炎球菌ワクチン接種希望者がいなかった。
- (2) インフルエンザ予防接種の実施。

・ 実施日：平成 24 年 11 月 16 日 【入居者様：89 名、職員：115 名】

#### エ. 感染の予防

- (1) 感染予防のため、朝礼時に入居者様間で発生している疾病に関する情報を職員に伝達し、予防対策を指示することで、入居者様および職員の健康管理を促し

た。

- (2) 研修を通し、定期的な感染症対策委員会を実施することにより、最新の動向および新知識の把握に努め、職員の感染予防の意識向上を図った。

【外部研修】

- ・ 平成 24 年 5 月 16 日 環境にやさしい新しい除菌、消臭機能水
- ・ 平成 24 年 10 月 29 日 感染予防、ノロウイルス対策
- ・ 平成 24 年 12 月 6 日 福祉施設における感染症対策

【内部研修】

- ・ 平成 24 年 7 月 3 日 感染症予防研修会：食中毒予防
- ・ 平成 24 年 11 月 20 日 感染症研修会：感染症発生時の対応

【感染症対策委員会】

- ・ 平成 24 年 6 月 26 日 感染症対策委員会（定期）
- ・ 平成 24 年 9 月 25 日 感染症対策委員会（定期）
- ・ 平成 24 年 11 月 27 日 感染症対策委員会（定期）
- ・ 平成 25 年 3 月 26 日 感染症対策委員会（定期）〔計 4 回実施〕

- (3) 予防に努めた結果、入居者様にインフルエンザおよびノロウイルスの発症は見られなかった。職員が一丸となって疑わしき症例に早期対応として予防隔離、検査を実施した結果、発症を未然に防ぐことができた。

2. 治療医療

ア. 的確な症状の把握

- (1) 介護職者の報告を把握し、バイタルサインの確認、異常症状発生以前からの状態の確認と変化した全身の状態を観察した。
- (2) 医療機関およびご家族等の関係者からの入居者様情報の入手に努め、入手した情報を関係者に確実に連絡し、情報の共有化を図った。

イ. 症状に適した処置の実施

- (1) 温冷罨法や安静にして様子を観察するなどにより、施設内処置を行った。
- (2) 配置医の指示を仰ぎ、入居者様の処置を行った。特別な医療処置が必要な入居者様に対して、日常必要な医療処置の経管栄養・吸引・インシュリン注射・外科的・皮膚科的・泌尿器科的処置、湿布、点眼を行った。

内容	人数
経管栄養（鼻腔・胃瘻）	10 名
酸素療法（在宅酸素使用者を含む）	1 名
インシュリン注射（7 時 30 分～19 時 00 分）	1 名
バルーンカテーテル留置	7 名
吸引	19 名
褥瘡	6 名



(3) 必要時に医療機関で受診し、また、定期受診を継続した。

受診科 月	内 科	外 科	整 形 外 科	眼 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	脳 外 科	精 神 科	糖 尿 病	循 環 器	リ ュ ウ マ チ 内 科	神 経 内 科	口 腔 外 科	婦 人 科	泌 尿 器 科	救 急 外 来	合 計
4月	1	8	7		1	1	2	1	3	1	1		1		3		28
5月		8	4	1		6	2				1				1	3	28
6月	2	15	8	1	1	2	4		2	2		3		2	2	2	46
7月		9	2	1	1	5	1			1	1	1			1	2	25
8月		17	4		2	1	1	2	3		1		1			2	34
9月	2	9	5	1	2	4	3	2	2			1	1		1	4	37
10月	2	12	1	2	1	2	1	1	3	1	1	1	3		2	1	34
11月		8	7			2			1	2	1	1			1	2	25
12月		13	7	2		2	1	1	3	1	1	1			1	1	34
1月	1	10	3	1		1	5		2		1				1	4	29
2月		9	3			1	1		2		1	1			1		19
3月	6	20	2	2		1				3	1				1	2	38
計	14	138	53	11	8	28	21	7	21	11	10	9	6	2	15	23	377

- (ア) 皮膚科の外来受診では、今年度も疥癬の発症は無く、蜂窩織炎の発症が3名となりましたが、世間一般ではあまり症例のない類天疱瘡(4名)、等の治りにくい皮膚炎に罹患した入居者様もいた。皮膚疾患は体の内部の表れとも考えられるため、今後は皮膚の観察ときめ細かい手入れを心掛けていく。
- (イ) 慢性疾患の糖尿病での定期受診の割合が増えている。
- (ウ) 整形外科の受診では、骨折後の通院回数が増加した。
- (エ) 外科の受診数は、配置医師が外科医ということもあり、多くなっている。
- (オ) 1人の外来受診の待ち時間に2~3時間を要するため、整形外科受診時に受付を先に行い、また他科を10時前に受診したりした結果、待ち時間の短縮が図れた。

(4) 週1回配置医の回診を実施し、診察、診断および処置を行い、薬の処方を行った。

#### ウ. 誤薬の防止

- (1) 入居者様の服用薬を管理し、処方された服用薬の確認と服用状況の把握を行った。
- (2) 配置医による服用継続の確認を月1回行った。
- (3) 配薬準備の際、2人以上でダブルチェックを行った。

- 2階、3階入居者様には配薬カートを導入し、薬局が毎週水曜日に来所して配薬準備にあたり、残薬の確認をすることで余分な薬を減らすことができた。
  - 4階入居者様にも5月から配薬カートを導入し、薬局の協力が得られる予定である。
- (4) 誤服用防止のため、処方薬の効能書きをユニットに配布し、服用薬について介護職員の理解を深めた。
- (5) 万一に備え、誤服用があった場合の連絡ルートおよび状況確認について、意識合わせを行った。

## エ. 褥瘡の予防

- (1) 毎月、第一金曜日に褥瘡予防対策委員会を開催し、施設長を始め、所長、相談員、看護職、介護職、栄養士と入居者様の状態確認および褥瘡予防に向けた対応策を検討し、協働と連携を図った。
- ① 定期的な褥瘡の評価を行い、早期治療を行った。
  - ② 皮膚の観察を定期的に行い、褥瘡の予防と早期発見を図った。
  - ③ ドレッシングテープや尿取りパッドを利用することで、褥瘡の治癒または改善が見られた。
- (2) 看護職員、介護職員を対象とした勉強会を実施し、褥瘡の予防に努めた。

### 【内部研修】

- ・平成24年10月16日 褥瘡予防研修会

### 【外部研修】

- ・平成25年1月26日 褥瘡対策パワーアップセミナー

## 3. 入居者様の意思を尊重した健康管理サービスの提供

- ア. 入居時および入居後の健康状態の変化に合わせ、リビングウィルを確認した。

## 4. 看取り介護への取り組み

- ア. 看取りの時期について配置医の判断を仰ぎ、ご家族に対して説明を行った。さらに看取りについてご家族がきちんと理解し、納得されたか、また入居者様およびご家族の死に関する要望を確認した。

- (1) 今年度は入居者様4名の看取り対応を実施した。

- (2) 看取り介護の実施を通して、入居者様自身だけでなくご家族への支援を通じ、モチベーションを高め、専門職としての成長を図ることができた。

- イ. 入居者様の夜間の急変時に備え、看護師は24時間のオンコール体制を取った。

- ウ. 看取り介護に関し、施設内で検討会および研修を行った。また提携病院と受け入れの打ち合わせを行った。

- エ. 外部研修の受講により知識を習得し、また職員を対象とした勉強会を実施することで、十分な看取り介護の実施に努めた。

## 【内部研修】

- ・ 平成 24 年 7 月 12 日 看取り介護カンファレンス
- ・ 平成 24 年 7 月 13 日 看取り介護カンファレンス
- ・ 平成 24 年 7 月 25 日 看取り介護カンファレンス
- ・ 平成 24 年 8 月 8 日 看取り介護の振り返り
- ・ 平成 24 年 9 月 21 日 看取り介護研修会
- ・ 平成 24 年 9 月 26 日 看取り介護カンファレンス
- ・ 平成 24 年 10 月 4 日 看取り介護の振り返り
- ・ 平成 25 年 3 月 19 日 看取り介護研修会

### 5. 均一な医療サービスの提供

- ア. 入居者様の健康情報を毎朝のミーティングで申し送りし、医務情報を共有した。
- イ. 実施した医療処置、健康状態、受診結果について記録に残し、併せて緊急時に適切な対応が取れるよう、関係部署との連携を図った。
- ウ. 必要な医療処置について、外部研修の受講により知識を習得した。また看護師間の勉強会を実施し、医療知識と技術のレベルアップを図ると共に、介護職員への研修を実施して協働連携し、医療事故の防止に努めた。

### 6. 災害・非常時の備え

- ・ 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の影響を受けて、災害・非常においても、入居者様、職員、地域の方々へ対応できるように応急処置用品の確認を行い、3 階エレベータ前の倉庫を保管場所とした。また入居者様の非常時持ち出し物品一覧表を作成し、全職員が周知し実際に行動できるように準備した。
- ・ 応急処置用品の管理に関しては消費期限があるため、数量などの検討と見直しを図った。

### 7. ショートステイ利用者様への対応

- ア. 利用者様の心身状態を観察し、必要に応じて医療処置を行った。
- イ. 利用者様の急変時、受診の要否を判断し、状況に応じた適切な対応を行った。
- ウ. 残存能力維持強化のため、状態に応じて日常動作の機能訓練を行った。

### 8. デイサービス利用者様への対応

- ア. 利用者様の心身状態を観察し、必要に応じて医療処置を行った。
- イ. 利用者様の急変時、受診の要否を判断し、状況に応じた適切な対応を行った。
- ウ. 残存能力維持強化のため、状態に応じて日常動作の機能訓練を行った。

### 9. 看護職員および介護職員の連携による取り組み

- ア. 入居者様の高齢化に伴う ADL (Activity of Daily Living : 日常生活動作) の低下予防と現状維持に努めるため、個別機能訓練計画書を作成し、介護職員と連携を図りながら取り組んだ。
- イ. 個別機能訓練計画書にもとづき、個別に機能訓練を実施、記録した。

3ヶ月毎の評価と見直しを実施し、ご家族への提示、了解を得た。

ウ. 一部医療処置（口腔内吸引、胃ろう注入の介助）について、一定の条件を満たした介護職員から協力を得られるようになった。これらを実施するにあたり、看護職員および介護職員に対して指定の研修を実施した。また、実際に処置を行うために、研修を修了し施設長から配置医に申請して承認を受けた介護職員が、入居者様やご家族の同意を得て実施している。

夜間用の吸引計画、実施記録用紙を作成し、頻回に吸引を必要とする入居者様に使用している。

#### 10. 施設内勉強会への参加

ア. 入居者様に安全・安楽な生活をして頂けるよう、各種勉強会に参加した。

- ・ 平成 24 年 4 月 26 日 新人研修
- ・ 平成 24 年 6 月 1 日 救命研修
- ・ 平成 24 年 6 月 4 日 救命研修
- ・ 平成 24 年 6 月 5 日 救命研修
- ・ 平成 24 年 6 月 20 日 救命研修
- ・ 平成 24 年 6 月 18 日 水分補給
- ・ 平成 24 年 6 月 19 日 事故防止研修会
- ・ 平成 24 年 7 月 3 日 食中毒予防研修会
- ・ 平成 24 年 9 月 4 日 高齢者虐待防止研修会
- ・ 平成 24 年 9 月 13 日 応急救護訓練、心肺蘇生法、AED の使用訓練
- ・ 平成 24 年 9 月 21 日 看取り介護研修
- ・ 平成 24 年 10 月 16 日 褥瘡予防研修会
- ・ 平成 24 年 11 月 20 日 感染予防研修会
- ・ 平成 24 年 12 月 18 日 事故防止研修会、正しい爪の切り方
- ・ 平成 25 年 2 月 19 日 自衛消防訓練参加
- ・ 平成 25 年 3 月 19 日 看取り介護研修

#### 〔8〕栄養科

管理栄養士

##### 1. 食の改善計画

基本方針として、「生き甲斐として食べることを楽しんで頂けるような食事提供・食環境作りをする」「個人への最適な栄養ケアをする」「低栄養・脱水状態の予防・改善に着目した栄養ケアを推進する」の三点を挙げ活動を行なった。

- (1) 食生活を楽しんで頂けるよう、入居者様に食べやすいメニューや希望に沿った食事メニューを取り入れた。簡単な食事やおやつ作りを一緒に行う等、食事作りの音や香りを楽しんで頂けた。

また入居者様の状態の変化に合わせたきめ細かい栄養ケアを目指し、各部署や厨房との連携を密に取りながら情報共有に努め、出来る限り個人の嗜好や体調等に合わせた迅速な食事対応をした。栄養ケアマネジメントにおいては、3か月ごとにケアプラン作成・アセスメント・実施・モニタリング・評価をすることで、入居者様の細かい状態の変化を把握しながら、食事・水分摂取量や体重の観察を行った。低体重や体重減少者には、補食や濃厚流動食を提供し、脱水予防の為に積極的な水分摂取を促し、必要に応じて水分補給ゼリーを提供した。

ア) 2F

常食を召し上がる方が多い為、入居者様と一緒にバラエティーに富んだ食事・おやつ作りをするという参加型のレクリエーションが多かった。入居者様のご希望に沿った食事や季節感を感じる事の出来るおやつ作りの企画があり、食事の雰囲気作りを重視したレクリエーションも見られた。好きな食事を摂ることを日常生活の一つの楽しみとして捉え、次の企画を心待ちにしているという方が多く見られた。また継続的にユニットでの炊飯や味噌汁盛り付けを行い、家庭的な雰囲気作りをすることができた。

イ) 3F

摂食・嚥下困難な方が多い為、入居者様の状態に合う、食べ易さを考慮した食事提供ができた。おやつレクリエーションでは誕生日に皆と一緒に食べる事の出来るロールケーキ・ババロアケーキの提供や入居者様のリハビリを兼ねた簡単なおやつ作りの企画が多かった。

ウ) 4F

入居者様の身体状況や希望に沿った食事提供ができた。常食で提供している方が多いが、食べにくい物は、その都度ユニットにて食べ易く切る等の提供方法の工夫もみられた。

おやつレクリエーションでは入居者様の目の前でケーキの盛り付けを行い、食事に対する興味を持って頂き、食事作りの雰囲気も楽しみながら召し上がって頂けた。またユニットでの炊飯や味噌汁盛り付けを日常的に行い、家庭的な雰囲気作りをすることができた。

エ) デイサービス

どの利用者様にも満足して頂ける食事を提供する事を目標として、食事内容の一部を変更した献立やバラエティーに富んだおやつを提供した。また月に一度、季節感のある食材を使用した昼食バイキングを行い、選ぶ楽しみを味わって頂き、食事の雰囲気作りにも配慮したサービスの提供ができた。その他、誕生日のロールケーキの提供や利用者様と職員と一緒に簡単なおやつ作りをし、親交を深めるレクリエーションが多かった。

#### オ) ショートステイ

誕生日のロールケーキの提供や、利用者様と一緒におやつ作りをして楽しめるような参加型の企画が多く、食事作りの雰囲気味わって頂けるレクリエーションを提供できた。

- (2) 適時・適温で食事を提供する為に、配膳・下膳時間の調整や配膳方法の検討を行った。また食事変更時の誤配膳を防ぐ為に、厨房職員との情報共有に努め、食事提供前の配膳チェックを行った。
- (3) 選択食の実施の代わりに、希望食として各ユニットの入居者様に希望メニューを伺い、厨房職員の協力を得ながら調整し、通常のメニューに取り入れた。

#### 2. 栄養ケアマネジメント

- (1) 入居者様全員を対象とし、栄養スクリーニングを行い、アセスメント書の作成・管理をすると共に、それに伴う栄養ケア計画書の作成を行なった。中・高リスク者の把握をし、高リスク者は2週間に一度、中リスク者は1ヶ月に一度モニタリングを実施し、3ヶ月ごとの評価を基に、プランの確認や変更をした。低体重や体重が減少傾向にある方、食事摂取不良や体調不良の方への対応として、各部署と情報を共有し、補食や嗜好に合った食事を提供しながら日々の体調管理に努めた。また経管栄養の方への経口移行の取り組みや、嚥下機能が低下した方への食事内容の検討を行った。
- (2) 食事環境の把握をする為に、各ユニットに訪問し、入居者様の食事摂取状況の観察を行った。各フロアの担当介護職員にも、食事提供状況や入居者様の体調や普段の食事状況等について伺い、入居者様からは食事に対する様々なご意見を多く頂くことができた。
- (3) 栄養、食事相談については、食べ易い食事や食事形態の相談に加え、入居者様から食事に関しての要望・相談を受ける事が多かった。
- (4) 個別の食事対応としては、個人に合った食事形態での対応を基本とし、毎朝パン食での対応、おにぎりでの対応、牛乳の代わりにヨーグルトやジュースでの対応等をした。その他、嗜好品として野菜ジュースやみそ類、水分補給の為のお茶ゼリー、体重コントロールの為の低エネルギー甘味料、排便コントロールが必要な方には食物繊維を提供した。また経管栄養の方が増えたこともあり、使い易さや栄養成分を考慮し、使用する濃厚流動食の種類を検討した。
- (5) 介護職員により毎食記録されている食事・水分摂取量を基に、毎日全入居者様の摂取量のチェックを行い、問題があると思われる方に関しては、関連職種と相談をして対応した。

### 3. 低栄養と脱水予防・改善の対応

低体重や低栄養状態の危険がある入居者様の体調や食事・水分摂取量の把握をし、必要に応じて補食の濃流ゼリーや高カロリー飲料の提供、嚥下困難な方への水分補給を目的としたお茶ゼリーの提供を行った。

### 4. 栄養管理

- (1) 施設食事サービス業務全般において総括し、各施設内関係部門との連絡調整、委託業者への指示を行った。
- (2) 献立の確認、指示、食数の指示、管理、食事箋の作成、管理、嗜好調査の実施、検食の実施と検食簿の記入、管理、関係官庁等に提出する給食関係の書類の作成、確認、提出、保管、管理を行った。
- (3) 毎月一度（第二金曜日）に栄養管理委員会を実施し、各階と委託業者と食事対応や提供メニューの内容について良かった点や改善すべき点を話し合った。食の向上と入居者様の健康管理を目的とし、意見交換をすることで、より具体的な対応策を検討することができた。

### 5. 委託業者との連携

- (1) 調理作業全般、食材管理、施設設備管理、厨房内衛生管理において、委託業者の栄養士と連携を取り、管理を行った。
- (2) 労働安全、衛生の管理として、施設栄養士を含む、調理作業に携わる調理師、栄養士全員を対象に、検便を定期的を実施した。

### 6. 衛生管理

- (1) 施設内の衛生管理として、ユニットキッチンの使用上の注意、個人所有の食品の管理について、食中毒・ノロウイルス等の予防、対処法等の書類の作成と説明をした。
- (2) ユニットキッチンの清掃確認と冷蔵庫チェックは、施設栄養士が各ユニットの食品保存状況やキッチン周りの確認・チェックを行い、衛生管理に努めた。

### 7. 行事食、食事レクリエーション、希望食献立の実施

- (1) 季節感を味わって頂く為、年中行事を中心とした行事食を少なくとも月に一度の割合で提供した。
- (2) アクティビティとして企画したユニットでの食事作りに出来る限り協力し、献立の調整、食材の発注、管理、調理工程の確認をして実施した。
- (3) フロア企画のレクリエーションとして、喫茶サービスや季節にちなんだおやつ提供、昼食バイキングを行った。
- (4) 栄養士企画レクリエーションとしては、夏に各フロアでおやつのかき氷サービス、冬にはぜんざいの提供をした。

(5) その他として、梅酒・梅ジュースを作り、旬の食材を用いた保存食作りを行った。

(6) ユニット毎に希望する食事を聞き、献立に組み込んだ。

#### 【行事食・施設行事】

- 4月12日〈花見御膳〉桜すし・清汁・筑前煮・ひじきの白和え・キウイフルーツ
- 5月 4日〈端午の節句〉うな玉丼・清汁・揚げ出し豆腐・ほうれん草の和え物・柏餅
- 5月11日〈母の日〉鮭ちらし寿司・清汁・がんもの炊き合わせ・菜の花くるみ和え・フルーツカクテル
- 6月18日〈父の日〉カツ丼・清汁・野菜のこってり煮・白菜の浅漬け・オレンジ
- 7月 6日〈七夕〉七夕そうめん・がんもと絹さやの煮物・わかめと胡瓜のサラダ・メロン・七夕ゼリー
- 7月27日〈土用の丑の日〉うなぎちらし・清汁・肉詰めいなりの炊き合わせ・小松菜のくるみ和え・オレンジ
- 8月15日〈お盆〉菜飯・清汁・天ぷら盛り合わせ・冬瓜の薄葛煮・わかめとカニかまぼこの酢の物・メロン・ミニおはぎ
- 9月 9日《敬老会》食前酒（梅酒）・赤飯・梅かつお汁・天ぷら盛り合わせ・野菜の炊き合わせ・だし巻き卵・八幡巻き・いんげんの胡麻和え・メロン・黄桃缶・ケーキ
- 9月21日〈秋分の日〉きのこ御飯・清汁・筑前煮・南瓜のいところ煮・白菜の酢の物・オレンジ・ミニおはぎ
- 10月 1日〈中秋の名月〉栗御飯・清汁・さんまの塩焼き・里芋煮・ほうれん草油揚げ和え・オレンジ
- 10月 7日《八瀬の里祭り》握り寿司・豚汁・やきとり・焼きそば・たこ焼き・ポテトフライ・デザート各種・ジュース・ビール、梅酒、麦茶等
- 11月23日〈新嘗祭〉御飯・清汁・天ぷら盛り合わせ・里芋胡麻風味煮・ひじきの白和え・オレンジ
- 12月21日〈冬至〉御飯・清汁・鮭の幽庵焼き・南瓜の煮物・大根の柚子香り漬け・バナナ
- 12月25日〈クリスマス〉海老ピラフ・コーンスープ・照り焼きチキン・星型コロッケ・ナポリタン・ポテトサラダ・オレンジ・ケーキ
- 12月31日〈大晦日〉海老天そば・里芋の田楽・青菜と人参の胡麻和え・みかん缶
- 1月 1日〈元旦・おせち料理〉赤飯・すいとん汁・煮しめ・伊達巻・蟹のささら蒸し・八幡巻き・正月かまぼこ・紅白なます・メロン・一松羊羹・



紅芋ムース

- 1月 2日〈三が日・正月料理〉ネギトロ丼・清汁・茶碗蒸し・春菊の和え物・オレンジ・紫饅頭
- 1月 3日〈三が日・正月料理〉中華丼・中華スープ・あんかけシュウマイ・三色ナムル・杏仁豆腐・ティラミス
- 1月 7日〈七草粥〉七草粥・清汁・鯖の味噌煮・炊き合わせ・漬け物・グレープフルーツ
- 1月 11日〈鏡開き〉ひじきご飯・寄与し知る・豆腐バーグ・株のえびあんかけ・胡瓜のさわやか三杯酢・オレンジ・ぜんざい
- 1月 15日〈小正月〉茶そば・小豆粥・海老と野菜の包み蒸し・みかん
- 2月 4日〈節分〉稲荷寿司・巻き寿司・清汁・鰯バーグ・五目豆煮・白菜と春菊のお浸し・キウイフルーツ
- 3月 4日〈ひな祭り〉ちらし寿司・清汁・炊き合わせ・菜の花の菊花和え・いちご・桜餅
- 3月 20日〈春の彼岸〉御飯・清汁・春の天ぷら盛り合わせ・カニ棒玉子ロール・しめじの酢の物・オレンジ・ミニおはぎ

【食事企画レクリエーション】

《1F》

年 月	デイサービス企画レク	ショートステイ企画レク
H24. 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> <li>・ 6日 (おやつ)</li> <li>おやつ喫茶バイキング</li> <li>・ 12日 (昼食バイキング)</li> <li>【桜寿司・筑前煮・茶碗蒸し・ひじきの白和え・カブの海老あんかけ・清汁・フルーツ盛り合わせ・葛切り】</li> <li>・ 17日 (おやつ)</li> <li>桜餅作り</li> <li>・ 25日 (おやつ)</li> <li>桜餅作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9日 (おやつ)</li> <li>鈴カステラ作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 14日 (おやつ) おやつ喫茶バイキング</li> <li>・ 23日 (昼食バイキング) 【サンドイッチ・フライ盛り合わせ・ナポリタン・アスパラの肉巻き・シーザーサラダ・コンソメスープ・コーヒーゼリー・フルーツ盛り合わせ】</li> <li>・ 24日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 25日 (おやつ) 鈴カステラ作り</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 12日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 14日 (おやつ) おやつ喫茶バイキング</li> <li>・ 18日 (おやつ) 八つ橋作り</li> <li>・ 22日 (おやつ) おやつ喫茶サービス</li> <li>・ 28日 (おやつ) 里芋餅作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12日 (おやつ) じゃが芋餅作り</li> <li>・ 20日 (おやつ) お好み焼き作り</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5日 (おやつ) たこ焼き作り</li> <li>・ 16日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 24日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 25日 (おやつ) たこ焼き作り</li> <li>・ 27日 (昼食バイキング) 【うなぎちらし寿司・炊き合わせ・焼き茄子と海老のおろしのせ・胡瓜とカニの酢のもの・小</li> </ul>	

	<p>松菜くるみ和え・清汁・フルーツ盛り合わせ・フルーツ寒天】</p> <p>・ 31日（おやつ）</p> <p>おやつ喫茶バイキング</p>	
8月	<p>・ 7日おやつ）</p> <p>じゃがバターお焼き作り</p> <p>・ 8日（おやつ）</p> <p>ロールケーキ提供</p> <p>・ 13日（おやつ）</p> <p>おやつ喫茶バイキング</p> <p>・ 23日（昼食バイキング）</p> <p>【きのこピラフ・唐揚げ盛り合わせ・さつまいも煮・カブのクリーム煮・サラダ・コンソメスープ・フルーツ盛り合わせ・ヨーグルト寒天】</p> <p>・ 24日（おやつ）</p> <p>南瓜おやき作り</p> <p>・ 31日（おやつ）</p> <p>ロールケーキ提供</p>	<p>・ 15日（おやつ）</p> <p>抹茶ババロアケーキ提供</p>
9月	<p>・ 3日（おやつ）</p> <p>ロールケーキ提供</p> <p>・ 7日（おやつ）</p> <p>白玉あんみつ作り</p> <p>・ 12日（おやつ）</p> <p>ロールケーキ提供</p> <p>・ 13日（おやつ）</p> <p>おやつ喫茶バイキング</p> <p>・ 21日（おやつ）</p> <p>ロールケーキ提供</p> <p>・ 26日（おやつ）</p> <p>みたらし団子作り</p>	<p>・ 23日（おやつ）</p> <p>あんみつ作り</p>
10月	<p>・ 8日（おやつ）</p> <p>たこ焼き作り</p> <p>・ 17日（おやつ）</p> <p>ロールケーキ提供</p>	<p>・ 28日（おやつ）</p> <p>ロールケーキ提供</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23日 (昼食バイキング) 【おにぎり・唐揚げ・ウインナー・海老フライ・茹で卵・りんごさき・ケーキ・フルーツポンチ】</li> <li>・ 26日 (おやつ) おやつ喫茶バイキング</li> <li>・ 29日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 30日 (おやつ) たこ焼き作り</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 14日 (おやつ) きな粉かりんとう作り</li> <li>・ 19日 (昼食バイキング) 【握り寿司・天ぷら・茶碗蒸し・白菜柚子お浸し・味噌汁・フルーツ盛り合わせ・おやつ盛り合わせ】</li> <li>・ 22日 (おやつ) さつま芋餅作り</li> <li>・ 28日 (おやつ) おやつ喫茶バイキング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 27日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7日 (昼食バイキング) 【オムライス・焼きそば・鶏竜田揚げ・ミートローフ・ハムと茄子の和え物・中華スープ・ケーキ・杏仁豆腐】</li> <li>・ 10日 (おやつ) おやつ喫茶バイキング</li> <li>・ 12日 (おやつ) たこ焼き作り</li> <li>・ 13日 (おやつ) スイートアップルポテト作り</li> <li>・ 21日 (おやつ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> <li>・ 13日 (おやつ) ロールケーキ提供</li> </ul>

	ロールケーキ提供	
H25.1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> <li>・ 14日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> <li>・ 22日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> <li>・ 28日 (おやつ)</li> <li>おやつ喫茶バイキング</li> <li>・ 29日 (おやつ)</li> <li>餃子ピザ作り</li> <li>・ 30日 (昼食バイキング)</li> <li>【御飯・きりたんぼ鍋・ほうとううどん・鰯大根煮・春菊の胡麻和え・温野菜サラダ・フルーツ盛り合わせ・ティラミス】</li> <li>・ 31日 (おやつ)</li> <li>りんご餃子作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30日 (おやつ)</li> <li>ホットケーキ作り</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4日 (おやつ)</li> <li>たこ焼き作り</li> <li>・ 12日 (昼食バイキング)</li> <li>のり巻き・稲荷寿司・カジキマグロの照り焼き・天ぷら・茶碗蒸し・揚げパン・味噌汁・あんみつ】</li> <li>・ 22日 (おやつ)</li> <li>じゃが芋餅作り</li> <li>・ 27日 (おやつ)</li> <li>おやつ喫茶バイキング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 18日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日 (おやつ)</li> <li>桜餅作り</li> <li>・ 4日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> <li>・ 7日 (おやつ)</li> <li>おやつ喫茶バイキング</li> <li>・ 18日 (おやつ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23日 (おやつ)</li> <li>ロールケーキ提供</li> </ul>

	南瓜おやき作り ・ 21日（おやつ） ロールケーキ提供 ・ 27日（昼食バイキング） 【炒飯・海老のチリソース・ 酢豚・味噌ラーメン・菜の花の お浸し・春雨サラダ・ゴマ団 子・ババロア】	
--	--	--

《2F》

年 月	ユニット企画レク
H24.5月	・ 9日・にっこう（おやつ）ロールケーキ提供 ・ 28日・あかぎ（昼食）握り寿司作り
6月	・ 25日・ふじ（おやつ）ロールケーキ提供
7月	・ 12日・あかぎ（昼食）稲荷寿司作り ・ 26日・2F全ユニット（おやつ）かき氷サービス
8月	・ 3日・ふじ（おやつ）白玉団子作り
9月	・ 27日・あかぎ・にっこう（昼食）お好み焼き作り
10月	・ 19日・ふじ（おやつ）たこ焼き作り
11月	・ 13日・あかぎ・にっこう（昼食）たこ焼き作り ・ 20日・ふじ（おやつ）白玉団子作り
H25.1月	・ 22日・あかぎ・にっこう（おやつ）プリンアラモード作り
2月	・ 5日・ふじ（昼食）まぐろ井作り ・ 14日・あかぎ・にっこう（昼食）三色井作り ・ 28日・2F全ユニット（おやつ）花餅・あざやか桜提供
3月	・ 14日・にっこう（昼食）赤飯作り

《3F》

年 月	ユニット企画レク
H24.4月	・ 12日・ふじ（おやつ）ロールケーキ提供 ・ 20日・ぶこう（おやつ）ロールケーキ提供 ・ 26日・にっこう（昼食）豆腐料理提供
7月	・ 8日・にっこう（おやつ）ババロアケーキ提供 ・ 12日・ふじ（おやつ）たこ焼き作り
8月	・ 1日・3F全ユニット（おやつ）かき氷サービス
11月	・ 1日・あかぎ（おやつ）ドラ焼き作り

12月	・18日・あかぎ（おやつ）ホットケーキ作り
H25.1月	・25日・あかぎ（おやつ）ロールケーキ提供 ・27日・ふじ・ぶこう（おやつ）プリンアラモード作り
3月	・25日・ふじ（おやつ）ホットケーキ作り

《4F》

年 月	ユニット企画レク
H24.5月	・27日・ぶこう（おやつ）ババロアケーキ提供
6月	・1日・ぶこう（おやつ）ホットケーキ作り ・9日・ふじ（おやつ）ババロアケーキ提供
7月	・8日・あかぎ（おやつ）プリン提供 ・10日・ふじ・ぶこう（おやつ）ドラ焼き作り ・18日・ふじ・ぶこう（昼食）お好み焼き作り
8月	・6日・4F全ユニット（おやつ）かき氷サービス ・19日・あかぎ（おやつ）ババロアケーキ提供 ・27日・ふじ・ぶこう（おやつ）ロールケーキ提供
10月	・3日・ふじ・ぶこう（おやつ）ロールケーキ・ババロアケーキ提供
11月	・18日・あかぎ（おやつ）ロールケーキ提供
12月	・9日・ふじ・ぶこう（おやつ）ロールケーキ・ババロアケーキ提供 ・23日・4F全ユニット・ロールケーキ・ババロアケーキ提供
H25.1月	・6日・あかぎ（おやつ）ロールケーキ提供 ・20日・ふじ・ぶこう（おやつ）ロールケーキ・ババロアケーキ提供
2月	・15日・ふじ・ぶこう（おやつ）ロールケーキ・ババロアケーキ提供

【希望食献立】

実施日	担当	希望食献立名
H24.4月 3日	4F ぶこう	・ネギトロ丼
5月15日	3F ふじ	・ちらし寿司・茶碗蒸し
6月 6日	ショートステイ	・五目ちらし寿司・筑前煮
6月14日	3F あかぎ	・カレーうどん
6月27日	4F あかぎ	・炊き込みご飯
7月11日	2F にっこう	・天ぷら・茶碗蒸し

7月 3日	3F につこう	・かけそば
8月 8日	2F ぶこう	・冷汁そうめん・卵豆腐
10月16日	4F ぶこう	・穴子丼
11月 7日	2F ふじ	・わかめうどん
11月12日	4F ふじ	・オムライス
11月29日	4F あかぎ	・五目ちらし寿司
12月5日	2F あかぎ	・海鮮丼
12月19日	3F あかぎ	・味噌ラーメン
H25.2月 7日	4F あかぎ	・親子丼
2月22日	ショートステイ	・ナポリタン
3月 5日	4F ぶこう	・ちらし寿司
3月 7日	3F につこう	・きつねそば
3月19日	2F につこう	・ネギトロ丼

#### 8. 研修への参加

- ・平成25年2月2日 老人福祉施設栄養士情報連絡会  
栄養業務における情報意見交換

#### 【栄養管理委員会】

\* 毎月第2金曜日 4F会議室にて

司会・記録 境原

月 日	会議の検討内容	参加者
H24.4.13	・3月提供メニューについて ・代替食について ・誤配膳、付け忘れについて	施設長・総務部長・所長・松本・安井・栢場・須賀・原口マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原
5.11	・4月提供メニューについて ・食事の盛り付けについて ・軟飯・粥の水分量について ・汁物のとろみ加減について	施設長・総務部長・所長・渡邊・秋葉・安井・栢場・須賀・原口マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原
6.13	・5月提供メニューについて ・味付けについて ・異物混入再発防止について	施設長・所長・渡邊・遠藤（真）・遠藤（孝）・安井・土屋・須賀・原口マネージャー・中村調理師・森栄養士・境原
7.13	・6月提供メニューについて ・味付けについて	施設長・所長・渡邊・安井・土屋・須賀・遠藤（孝）・渡



		辺(雅)・原口マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原
8.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月提供メニューについて</li> <li>・ 嗜好調査実施の集計報告</li> <li>・ キザミ食の形状について</li> <li>・ 主食の硬さについて (水分量・炊き方等)</li> </ul>	施設長・総務部長・所長・渡邊・笹井・内海・安井・土屋・須賀・原口マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原
9.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月提供メニューについて</li> <li>・ 食事配膳について (未配膳・誤配膳の再発防止)</li> <li>・ 下膳時間の再確認</li> <li>・ 敬老会・八瀬の里祭りの食事提供について</li> </ul>	施設長・所長・渡邊・遠藤(孝)・内海・安井・土屋・須賀・佐藤・原口マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原
10.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月提供メニューについて</li> <li>・ キザミ食の形状について</li> <li>・ 軟飯の水分量について</li> <li>・ 希望食について</li> <li>・ 感染症対策について</li> <li>・ 八瀬の里祭りの反省</li> </ul>	施設長・所長・渡邊・遠藤(真)・遠藤(孝)・安井・栢場・須賀・佐藤マネージャー・森栄養士・境原
11.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月提供メニューについて</li> <li>・ 食事の誤配膳再発防止</li> <li>・ 味付けについて</li> </ul>	施設長・所長・渡邊・秋葉・田中・発知・須賀・原口調理師・森栄養士・境原
12.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月提供メニューについて</li> <li>・ 食事の未配膳、誤配膳</li> <li>・ パン食について</li> <li>・ 正月料理の提供について</li> </ul>	施設長・所長・渡邊・渡辺(雅)・安井・竹崎・須賀・佐藤マネージャー・森栄養士・橋本栄養士・境原
H25.1.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月提供メニューについて(正月料理等)</li> <li>・ ノロウイルス発症者への食事対応について</li> <li>・ 粥の水分量について</li> <li>・ 希望食の対応について</li> </ul>	施設長・所長・渡邊・遠藤(孝)・秋葉・安井・土屋・須賀・佐藤マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原

2. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月提供メニューについて</li> <li>・ 味付けについて</li> <li>・ パン食メニューの検討</li> <li>・ 付け忘れ再発防止</li> </ul>	施設長・総務部長・所長・遠藤（孝）・内海・安井・竹崎・矢部・佐藤マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原
3. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2月提供メニューについて</li> <li>・ 郷土料理の提供について</li> <li>・ 春の彼岸の行事食</li> <li>・ 付け忘れの確認</li> <li>・ デイサービスバイキングのメニュー</li> </ul>	施設長・総務部長・所長・遠藤（孝）・遠藤（し）・矢部・土屋・田中・佐藤マネージャー・原口調理師・森栄養士・境原

## 〔9〕 特別養護老人ホーム

生活相談員

### 1. 在 籍

開設7年を経て、入居者様の年齢が高齢になる中で、受診、入院による対応を行っている。長期入院、医療施設転院の状況がある。3月31日の在籍者は95人となっている。

療養型施設への転出、入院の長期化や死亡等での空室日数があり、平成24年度の稼働率は95.67%、平均在籍者数91.84名である。

平成24年の3月より平成25年3月にかけて、特養に於ける短期入所生活介護の空床利用を実施している。利用延べ人数は318名となっている。

次に入居して頂く対象者へは、当施設「優先入居に係わる取扱規定」による優先順位に基づき、入居順位検討結果を平成25年3月末の結果を送付している。ご家族や関係者各位に連絡し、入居して頂けるように手続きを進め、平成24年度における退居日から新規入居日までの期間は平均8日間である。

表1に示す通り、平成24年度の男女比率は、男性が23%、女性77%となり、前年と同様に女性の入居割合が高くなっている。

表1. 平成24年度入居者男女比率（平成25年3月31日現在）

	平成24年度		平成23年度	
	人数	割合	人数	割合
男性	22名	23%	24名	25%
女性	73名	77%	72名	75%
合計	95名	100%	96名	100%

## 2. 退 居

表2に示すように、平成24年度の退居者は21名であった。死亡による退居者が13名、入院加療継続中の退居手続きによる退居が8名であった。

表2. 平成24年度退居者一覧

年 月	退居者数	退居理由
平成24年6月	2名	加療継続入院1名、死亡1名（病院にて）
7月	3名	加療継続入院2名、死亡1名（病院にて）
8月	2名	死亡2名（病院にて）
9月	2名	死亡2名（病院にて）
10月	3名	加療継続入院2名、死亡1名（病院にて）
11月	4名	加療継続入院1名、死亡3名（病院にて）
12月	1名	加療継続入院1名
平成24年1月	1名	死亡1名（病院にて）
2月	1名	加療継続入院1名
3月	2名	死亡2名（病院にて）
合 計	21名	

表3. 年度別退居者数の推移（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平24	0	0	2	3	2	2	3	4	1	1	1	2	21
平23	2	3	2	1	8	2	0	2	1	3	2	1	27
平22	1	1	2	4	3	1	2	1	1	2	3	5	26
平21	2	0	1	0	2	3	0	2	1	3	4	3	21
平20	2	0	1	1	2	2	2	1	3	3	2	2	21

### ★平成24年度参考指標

退居者の平均在籍日数 1,424日

最長在籍日数 2,582日

最短在籍日数 245日

退居時平均年齢 86.1歳

退居時最高年齢 100歳

退居時最少年齢 74歳

## 3. 新規入居

表4に示す通り、新規入居者様は20名、その内自宅待機10名、老人保健施設待機8名、医療機関待機2名となっている。介護されているご家族の高齢化が進んでいる。老人保健施設のサービスを継続的に利用しながら、特養を待機されている。自宅待機者の方々も、在宅での訪問介護サービスと短期入所介護を利用されている。それぞれの部署と連携を取りながら、今後も迅速な入居に努めていく。

表4. 平成24年度新規入居者一覧

年 月	新規入居者数	入居前の居所
平成24年6月	1名	老健
7月	2名	在宅2名
8月	4名	在宅1名、医療機関1名、老健2名
9月	1名	在宅
10月	4名	在宅2名、老健1名、医療機関1名
11月	3名	在宅2名、老健1名
12月	2名	老健1名、有料ホーム1名
平成25年1月	1名	在宅
2月	0名	
3月	2名	在宅1名、老健1名
合 計	20名	

★平成24年度参考指標

入居時の平均介護度 4.0

平均待機期間1年4ヶ月 最短待機期間2ヶ月 最長待機期間6年7ヶ月

表5. 新規入居者の介護度と待機期間

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
入居者(人)	0	0	5	10	5
平均待機期間(ヶ月)	—	—	15	18	5

表6. 年度別新規入居者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平24	0	0	1	2	4	1	4	3	2	1	0	2	20
平23	3	4	2	1	3	5	2	2	1	1	4	1	29
平22	4	1	0	4	5	0	3	10	13	1	3	4	48
平21	3	0	1	0	1	2	2	0	3	0	5	2	19

4. 入居申込みと待機者状況

平成24年4月から平成25年3月の間の新規申込は93件であった。また、この期間中の申込取下は29件であった。平成25年3月末における入居待機者数は、203人となっている。

取下げ理由として、当施設でも待機期間の長期化と、医療処置継続の為の入院、他施設入居（重複待機）と待機中に亡くなる方が増えている。

## 5. 入院実績

延べ人数は96人で、重篤による入院が増えている。開設から7年を経過し、入居者様の体調管理に一層の留意が必要となってきた。延べ入院日数は、1,153日で、平均入院日数は昨年度の14.1日より増加して21日となっている。

表7. 入院実績の推移

月	年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ入院者数(人)	平24	5	13	10	10	8	5	5	7	7	4	8	14	96
	平23	7	9	8	5	11	8	6	8	8	10	8	7	95
	平22	5	13	15	17	16	13	7	6	8	1	11	9	121
	平21	9	6	6	4	8	10	4	5	8	11	13	12	96
延べ入院日数(日)	平24	69	49	203	130	74	53	96	87	55	90	105	142	1,153
	平23	108	110	111	88	138	81	45	51	89	91	54	52	1,018
	平22	104	192	122	154	231	123	86	22	140	213	112	141	1,640
	平21	100	80	69	52	140	115	120	57	135	149	194	136	1,347

## 6. 受診実績

受診の頻度は、月平均にすると31.5回となり前年度より増加している。開設から7年を経過し、入居者様の高齢化を踏まえ、日常生活の健康状態について回診での診察、施設内における体調の経過記録からも、今後も状態変化に早めの対応が考慮される。

表8. 受診実績の推移 (注：一部の検査関係は除き、家族対応を加えているので、医務の集計とは若干異なる)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
施設対応	23	25	42	23	31	33	28	23	33	28	18	37	344
家族対応	5	3	4	2	3	4	6	2	1	1	1	1	33
平24年度合計回数	28	28	46	25	34	37	34	25	34	29	19	38	377
平23年度合計回数	26	32	17	19	39	24	28	42	29	39	32	33	360
平22年度合計回数	21	21	27	39	20	14	20	14	30	35	25	33	299
平21年度合計回数	32	22	29	33	32	35	25	20	28	31	33	27	347

平成 24 年度 在居者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	94	93	92	90	95	92	92	92	92	95	90	92
2日	94	93	91	90	95	92	92	92	92	95	90	92
3日	93	93	91	90	95	91	92	92	92	95	90	92
4日	93	93	91	91	94	92	92	92	92	95	90	92
5日	93	93	88	90	93	92	92	92	93	95	90	92
6日	93	93	88	90	93	92	92	92	93	95	91	92
7日	93	94	88	90	92	92	92	92	93	94	91	91
8日	93	93	88	90	92	92	92	92	93	94	91	91
9日	93	92	87	90	92	92	92	92	93	94	91	91
10日	94	92	87	90	92	93	92	92	94	94	91	91
11日	94	92	86	90	91	93	91	92	94	94	91	91
12日	94	92	86	88	91	93	90	92	94	94	91	92
13日	94	92	86	88	91	93	90	91	94	94	92	90
14日	94	92	86	89	91	93	90	91	94	94	92	91
15日	94	93	86	89	91	93	90	91	94	95	92	91
16日	94	93	86	89	92	93	90	91	94	93	92	90
17日	94	93	86	90	93	93	91	91	94	93	92	89
18日	95	93	87	91	91	93	91	90	93	93	94	89
19日	95	94	88	91	91	93	91	90	93	93	94	89
20日	95	93	88	91	92	93	91	91	93	92	94	89
21日	95	93	88	91	92	93	93	90	93	92	94	89
22日	94	93	89	91	92	93	92	90	93	91	94	90
23日	94	93	89	92	93	93	92	92	93	90	94	90
24日	94	93	88	93	93	92	93	91	93	90	94	89
25日	94	92	89	94	93	92	93	91	95	90	94	89
26日	94	91	91	94	92	92	92	91	95	90	94	90
27日	93	91	89	94	92	92	92	91	95	90	94	90
28日	93	91	89	94	92	92	92	91	95	90	94	89
29日	93	92	90	94	92	91	92	91	95	90	94	90
30日	93	93	90	94	92	91	92	92	95	90	-	89
31日	-	93	-	94	92	-	92	-	95	90	-	89
月間在居人数	2,813	2,871	2,648	2,822	2,862	2,771	2,838	2,740	2,901	2,874	2,581	2,801
定員数	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,688	2,976
平成 24 年度在居率	97.67%	96.47%	91.94%	94.83%	96.17%	96.22%	95.36%	95.14%	97.48%	96.57%	96.02%	94.12%

★平均在居率 95.67% 平均在居人数 91.84人(年間在居人数 33,522人 年間定員数 35,040人)

平成 23 年度在居率	97.99%	98.99%	95.59%	97.08%	94.69%	97.12%	96.77%	97.60%	97.24%	95.36%	95.83%	96.77%
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

★平均在居率 96.00% 平均在居人数 92.60人(年間在居人数 33,870人 年間定員数 35,040人)

平成 22 年度在居率	95.45%	93.18%	93.99%	93.82%	90.83%	95.21%	95.80%	98.99%	94.90%	93.18%	94.61%	94.72%
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

★平均在居率 94.54% 平均在居人数 90.80人(年間在居人数 33,127人 年間定員数 35,040人)

平成 21 年度在居率	96.11%	97.28%	97.64%	98.25%	95.56%	94.58%	95.13%	97.67%	94.42%	93.72%	88.88%	92.81%
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

★平均在居率 95.21% 平均在居人数 91.40人(年間在居人数 33,361人 年間定員数 35,040人)

平成 24 年度 入院者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	2	3	5	5	0	4	4	4	3	1	6	3
2日	3	3	5	6	0	4	4	4	3	1	6	3
3日	3	3	5	5	1	4	4	4	4	1	6	3
4日	3	3	8	6	1	3	4	4	3	1	6	3
5日	3	3	8	6	1	3	4	4	2	1	6	3
6日	4	3	8	6	2	3	4	4	2	1	5	4
7日	3	3	9	6	2	3	4	4	2	1	5	4
8日	3	4	9	6	2	3	4	4	2	1	5	5
9日	3	4	9	6	2	3	4	4	2	1	5	4
10日	2	5	10	6	4	3	5	4	2	1	5	4
11日	2	4	10	7	3	4	5	4	2	1	5	4
12日	2	4	10	7	3	3	5	5	2	1	5	5
13日	2	4	10	7	3	3	5	5	2	2	4	5
14日	2	4	10	6	3	3	5	5	3	2	4	5
15日	2	3	9	6	3	3	5	6	2	3	4	6
16日	2	3	9	6	3	3	5	5	2	3	4	6
17日	2	3	9	6	5	3	5	5	3	3	4	6
18日	1	5	8	5	3	3	4	5	3	3	4	6
19日	1	3	7	5	3	3	4	5	2	4	2	6
20日	1	3	7	5	3	3	4	4	2	4	2	6
21日	2	4	7	5	3	3	4	3	3	5	2	6
22日	2	3	7	5	3	3	4	3	2	6	2	5
23日	2	3	8	4	2	3	4	2	2	6	2	6
24日	2	4	8	2	2	3	4	3	2	6	3	6
25日	2	5	7	1	3	3	3	3	1	6	2	6
26日	3	5	6	1	3	3	4	3	1	6	2	5
27日	3	5	6	1	3	3	4	3	1	6	1	6
28日	3	5	6	0	3	4	4	3	1	6	2	7
29日	3	4	5	0	4	4	5	3	1	6		9
30日	3	3	5	0	4	4	4	3	1	6	-	6
31日	-	4	-	0	4	-	4	-	1	6	-	6
平 24 年度	71	115	225	137	81	97	132	119	61	101	109	159

(年間延べ人数 1,407 人 月平均 117.25 人)

平 23 年度	51	35	124	88	119	105	78	53	81	128	64	92
---------	----	----	-----	----	-----	-----	----	----	----	-----	----	----

(年間延べ人数 1,018 人 月平均 84.83 人)

平 22 年度	109	195	166	154	238	136	94	26	147	213	124	141
---------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	-----	-----

(年間延べ人数 1,342 人 月平均 111.83 人)

平 21 年度	100	80	69	52	140	115	120	57	135	149	194	136
---------	-----	----	----	----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----

(年間延べ人数 1,342 人 月平均 111.83 人)

### 5. 要介護度推移

表9の通り、要介護度が開設から7年を経過して、身体の状態の変化が大きく、今年度一年間の平均介護度は4.00となっている。

表9. 要介護度の推移（平成24年度平均介護度 4.00）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
介1（人）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
介2（人）	5	5	5	4	4	3	2	2	2	2	4	4
介3（人）	14	14	14	17	19	16	17	17	17	17	16	16
介4（人）	42	41	41	40	45	46	47	46	43	43	41	40
介5（人）	34	35	35	34	31	30	31	32	33	33	33	35
平24平均介護度	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0
平23平均介護度	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
平22平均介護度	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9
平21平均介護度	3.7	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9
平20平均介護度	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7

### 6. 平均年齢推移

入居者平均年齢87.7歳（男性：82.7歳、女性：89.1歳）、100歳以上の方が6名（女性）、90歳以上の方が39名（内女性36名）入居されている。昨年に比べると女性の90歳以上の方が増えている。

表10. 平均年齢の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
女性	87.9	87.9	88.1	88.1	88.2	88.5	88.5	88.4	88.6	88.8	88.9	89.1
男性	82.9	82.9	83.0	83.2	83.4	83.5	83.0	83.0	82.5	82.7	82.7	82.7
平24年度全体	86.6	86.7	86.9	86.9	87.0	87.1	87.0	87.0	87.1	87.2	87.4	87.7
平23年度全体	84.7	85.9	86.1	86.0	86.3	86.3	86.3	86.4	86.5	86.5	86.4	86.5
平22年度全体	86.0	86.1	86.2	86.3	86.2	86.2	86.3	86.4	86.3	86.3	86.3	86.4
平21年度全体	85.5	85.6	85.6	85.7	85.7	85.8	85.7	85.8	85.8	85.9	85.9	86.0
平20年度全体	84.8	85.1	85.2	85.3	85.4	85.5	85.5	85.6	85.6	85.7	85.3	85.6



## 7. 収入段階、利用料

収入段階による利用料は、減免申請により、第2,3段階が74名となっている。新規入居のご家族が、負担限度額段階区分の申請をされ、自己負担の軽減を図られている。

※ 平均収入段階区分：2.65段階（前年：2.68段階）

収入段階	平成24年度末		平成23年度末	
	人数	構成比率(%)	人数	構成比率(%)
第1段階	1	2	3	3
第2段階	56	59	52	55
第3段階	14	15	13	14
第4段階	24	24	28	28
合計	95	100	96	100

## 8. 外出

平成24年4月1日から25年3月31日の間の、入居者様のご家族と外出した回数を示したものが表12である。外出要因として、主に自宅やご家族の家への外出や、外食、通院などが上げられる。

今年度は、のべ44名の方々が外出されている。

表12. 家族との外出回数

外出回数	人数	比率(%)
5~10	2	3
4	1	2
3	4	4
2	4	4
1	8	9
0	81	78
計	100	100

## 9. 外泊

今年度は外泊の件数は5件（4名）となっている。特定の入居者様が複数回の外泊をされている。ご家族の希望、要望に沿って、介護タクシー手配、車椅子活用、各部署の事前連絡、状態確認も含め、今後も対応に努める。

## 10. 面会

表13に示すとおり、今年度の面会者の総数は7,673人で、昨年同様、多くの方に来て頂けた。1日の面会者の平均人数は21.0人であった。

ご家族が来所の際は、なるべく日頃のご様子を伝えることにしている。

ほぼ毎日面会に来られるご家族もいらっしゃり、安心して生活を送れている。来年度も引き続き多くの方に面会に来て頂けるように、ご家族へ働きかけを行っていく。

## 1.1. 生活相談員の業務を振り返って

開設から7年となり、入居されている方々の高年齢化と身体状況の変化を考慮する状態が増えてきている。日々の生活が、穏やかに経過して頂けるように一層の状態把握が必要となっている。状態変化に対する受診と医療的ケアの対応も、観察、記録を通じて行っていく必要がある。

今年度は、21名の方々の退居と、20名の新規入居者様を受け入れている。ご家族、関係各位との連携と、ご家族の年齢も踏まえて対応に努めた。今後も安全、安心の日常生活の継続を図り、相談業務における支援に役立てて行きたい。

## 1.2. その他

### (1) 介護サービス情報公開

今年度も介護サービス情報公開を行った。当法人の運営状況や、提供している介護サービスについての自主点検を実施し、取り組み姿勢の共有と対応できる体制の確認を行った。施設の運営体制や介護方針について見直しを行う良い機会となり、会議や委員会にて検討した。

### (2) 実地指導・監査

9月19日に、書類提出による川越市社会福祉施設等指導監査が実施された。特に大きな指摘事項は無かったが、今後もより適切で快適なサービスを提供できるよう努めていく。

### (3) 感染症予防対策

感染症対策委員会を設置し、食中毒、ノロウイルス、季節性インフルエンザ、新型インフルエンザ、結核等の予防について検討した。食中毒については、管理栄養士が直接予防についてご入居者様にお話する機会を設け、予防に対する知識の向上を図った。ノロウイルスについては手洗いの徹底を基本に、食品の管理方法や体調不良者の状況把握に努め、発症することなく経過した。インフルエンザについても防止対策を実施し、今年度は発症する方はいなかった。また外来者にうがい・手洗いとマスクの着用をお願いしてウイルスの進入を防ぐと共に、居室の換気や加湿器を使用しての湿度管理を行い、その後も発生防止に努めた。

感染症予防の外部研修に参加し、その内容について内部で研修発表を行う等して施設全体での感染症予防に対する意識統一を図った。

## 【ケアプラン】

新規入居の方々のプラン作成に関しては、居室担当者室を中心としてモニタリングを行い、情報を交換しながら要望や問題点を探ってプランを作成した。継続の方々に関しては、日々の生活を送る中でのご本人の要望や、必要な支援の提供方法を職員間で検討・情報交換し、作成した。また、ご本人及びご家族の要望の変化に応えるべく、ユニット内での検討を随時行い、日々の生活の充実に努めた。

## 【カンファレンス】

実生活に合った、個々の要望を出来得る限り汲んだプラン作成の為、他部署と意見を交わし、生活の問題解決、要望への対応を行った。

個別機能訓練等、必ずしもご本人の意向と必要性が噛み合わない物もあったが、意向の尊重と必要性とのバランスを取りながら、各部署とも共通の認識を持って個別ケアが行える様、話し合いを行った。

入退院後等の状態変化に伴うプランの見直しや、看取りの方のプランについても、他部署の協力の下、しっかりとした話し合いの場を持つ事が出来た。

## 【モニタリング】

個々人に合った生活の充実に向け、ご本人の意向を尊重しつつ、日々のモニタリングを行えた。職員間の情報交換により、提供するサービスの改善や変更も円滑に行う事が出来た。

## 【身体ケア】

## (1) 食事

入居者様の嗜好や要望については、出来得る限り医務や栄養科と連携して取り入れる様に努めたが、個々の要望を全て受け入れる為の体制作りの難しさや個別サービスの限界もあり、今後の課題である。

食事レクやおやつレクについては、入居者様の要望に沿った物が提供出来、喜んで頂けた。とりわけ誕生会のケーキや、季節を感じられるかき氷やお茶会などの企画は好評だった為、施設・栄養士の協力を頂き、今後も継続・充実させていく。

## (2) 入浴

入浴の形態の選択や入浴時の好みなどにも可能な限り意向を尊重して対応する事が出来た。安全に対する配慮も、事故事例などの掲示によって職員の意識を高め、事故無く介助が行えた。今後も事故のリスク管理の徹底に努めていく。また、入居者様にくつろいで入浴して頂ける様、時間配分や脱衣所の室温、湯温等にも気を配り、細やかなサービスの提供に努めた。

(3) 排泄

入居者様一人一人の排泄パターンの把握は、不十分な点が残る。今後は、水分摂取や運動と言った多方向からのアプローチを取り入れながら、入居者様それぞれに合った排泄援助を行える様、取り組みを継続していく。また、介護者の視点からだけでなく、入居者様の不快感を軽減し、尊厳を尊重した生活を送れる様、引き続き協力して配慮して行く。

(4) 整容・口腔・更衣

起床時を中心に整容に努め、ご自身で出来る事はお願いする、鏡の前や挨拶の際に話題としてふれる等、ご本人の意識も向けて頂く様に努めた。口腔に関しては、歯科医の助言の下、毎食後の口腔ケアを行い、口腔清潔の保持と感染予防に努めた。更衣についても、更衣時の怪我の予防に努め、気候に合った衣服の選択に留意した。

(5) 健康管理・水分補給

インフルエンザやノロウィルス等の感染症の発生は無く経過したが、個々の入居者様の体調管理についても、より一層留意していく。

傷病の早期発見によって早期回復を目指す為、日々の様子観察や適切な対応が取れる様、医務との連絡を密に取り連携を強めていく。

水分補給に関しては、排泄委員会のオムツ外しの取り組みの一環でもあり、摂取量の確保に努めた。今後も一人一人に無理の無い水分摂取量増加と排泄パターンの確立、入居者様の負担軽減の両立に努める。

(6) 機能訓練

個別の機能訓練については、ケアプランと関連付けて日々の生活の中に取り入れる事で、入居者様の身体状況に合わせた提供が出来た。今後も、訓練時の様子等気付いた事の記録・報告・相談を行い、入居者様の意向も取り入れて機能訓練を継続して行く。

(7) アクティビティ・レクリエーション

日々の気分転換として、ベランダ散歩や外気浴、リハビリを兼ねた音楽クラブ・体操クラブの活動を行い、入居者様の余暇活動の充実に努めた。また、テーブル拭きやエプロン畳み等の手伝いの協力をお願いする事で、ユニット内での役割を担って頂いた。食事レクで準備を手伝って頂いたり、作りながら会話をしたりする事で、より楽しんで頂けた。今後は外出の機会を増やし、施設外での余暇活動を取り入れられる様に努めていく。

(8) その他

入居者様への声掛けや対応等で、至らない部分の御指摘を頂いた。一時の感情に流されたり、個人的な介護観を押し付けたりしない様、介護職員として常に自らを省みる努力が不足していた。介護について話し合い、お互いの

考え方を知る場を設けていく事で、個人個人の考え方をより良い方向へ向ける努力をしていく。

#### 【精神ケア】

ユニット内の個人の居場所作りに努め、好きな場所で落ち着いて過ごして頂ける様に配慮した。入居者様同士のトラブルも、職員が未然に防ぐ事が出来る様に見守りを行い、また、トラブルになっても間に入って収める様に努めたが、先入観や過去の経緯等で難しい場合もあり、対応については今後の課題も残った。共同生活を営んで頂く中で、ユニット内の居心地が悪くならない様に、今後も対応について話し合い、改善の努力をしていく。

入居者様の声を傾聴し、訴えの内容の早期解決を目指し、報告・相談をしながら個々の職員が様々な視点から対応を考えた。入居者様の意向や訴えの内容について、職員間で話し合いを行い、対応を行った。解決に至らない訴えも多いが、今後も各職員の視点を活かし、意見交換する事で、より良い対応を模索していく。

ユニットの飾り付けを工夫し、季節の話等の会話のきっかけにして和んで頂ける様、話題作りに努めた。

#### 【社会的ケア】

地域のボランティアの方々との交流を通じ、良好な関係の構築に努めた。今後も継続して他フロアのボランティア活動や訪問販売等、外部の方々とのふれ合いの機会を増やし、交流を深めて行く。また、外出レクに関しては、春のお花見が恒例行事として行えた。その他にも気候の良い時期に、施設の中では味わえない季節感を感じて頂ける様な外出レクを企画し、実行出来る様努める。

#### 【環境整備】

リビングや居室内の家具等の配置も、ユニットリーダーを中心に安全面を考慮し、入居者様の意向も踏まえて随時改善した。車椅子等の保守点検は、他部署の協力も有り要望に迅速に対応出来た。今後は定期的な車椅子清掃を心掛け、担当職員が責任を持って行う様に徹底していく。ユニット内や共有スペースの飾りつけについては、ユニット毎に行事の写真や草花、観賞魚を置き、入居者様が楽しめる様に努めた。

居室・リビングの清掃に関しては、居室担当を中心に非常勤職員とも協力をしながら行った。床や洗面台が中心となっていた為、今後は細部にも気を配り、より清潔感のある生活空間作りに努めていく。共有部分の清掃については他部署の尽力により清掃が出来ていたが、休日等の清掃についても職員の意識を高め、清潔保持に取り組んでいく。

## 【ケアプラン】

ケアプラン作成、モニタリングの実施により、入居者様に対して、メリハリのある生活の提供が出来た。フロア・ユニット内での連携も築かれ、ケアプランの作成に伴い情報の共有化も出来ている。今後は、担当職員を中心に、他部署との連携も密にし、ケアの質をより向上していく事が課題である。

## 【カンファレンス】

入居者様一人ひとりの無理の無い計画に基づき、各専門職との意見交換は計画的に行えた。また入退院により、状況に変化が見られる入居者様については、速やかに再度計画を立案し、カンファレンスを行うことが出来た。

## 【モニタリング】

作成されたケアプランの情報を共有化し、フロア職員全体でモニタリングを行った。リハビリを中心としたモニタリングについては、人員配置によっては実施出来ない日もあり、現在の体制でも安全かつ確実に実行するにはどうすれば良いかが課題となった。

## 【身体的ケア】

## (1) 食事

入居者様の ADL の変化に合わせた食事形態を、日々の状況や職員間の情報を共有し、検討しながら提供できた。

## (2) 入浴

入居者様の身体状況や精神状況に合わせた入浴の提供が出来た。また、身体状況により、入浴が困難なケースにおいては、洗身用品を用いた全身清拭と更衣の実施を行った。

入浴時のケアでは、移乗時の怪我や事故があり、職員の技術指導が今後の課題である。爪切り事故については、研修等を行う事により減少した。

## (3) 排泄

おむつゼロに向けての成果については、一定の成果が得られた入居者様もあり、清潔保持・皮膚状態向上・下剤ゼロに向けた成果がみられた。しかし、成果が得られなかった入居者様に対しては、更なる技術指導・知識講習も随時行い、入居者様の QOL 向上に繋げていきたい。

## (4) 更衣

入居者様の意向を尊重しつつ、季節や身体状況に合わせた服装を心掛けて更衣にあたった。また、更衣の際も個々の ADL に合わせた介助を行った。

## (5) 整容・口腔ケア

口腔内の清潔に努め、歯科医師とも連携して口腔ケアを行った。また、胃瘻や経管栄養の入居者様についても、午前・午後の口腔ケアの実施や、必要に応じて、その都度ケアを行った。

整容では、起床時の整髪や、定期的な理美容の利用を心掛けた。

## (6) 健康管理・水分補給

重大な感染症の発症もなく、年間を通して体調管理に留意した結果、落ち着いた生活の提供が出来た。水分補給については、ある程度の摂取量は確保されていた

が、排泄ケアと関連付けられる摂取量についても、1500 ccを基本として一定の水分量確保の為の援助が出来た。

(7) アクティビティ

日常生活の中で、入居者様の個々の楽しみを尊重し援助を行った。その他、季節感のある行事等も職員間で提案し、季節的な楽しみの提供も行った。

(8) その他

滑落による事故が発生したが、ユニットリーダーを中心にケアの統一を図り、再発防止に努めた。その後は滑落事故も減少し、骨折事故は無く推移している。引き続き、安心・安全なケアの確保を継続して行きたい。

【精神的ケア】

入居者様との会話を重視し、密接な関係を作ることに努めた。入居者様の依存は見られるが、日々の生活に不自由の無い様に配慮しつつ、良好な関係を保てるように援助していくことが出来た。また職員の対応について、苦情等は見られないが、職員の言葉遣いや接遇態度の更なる向上が今後の課題である。

【社会的ケア】

地域との交流を深めるため、入居者様の気分転換のための定期的な外出や散歩等、時間を設定し積極的に行うよう努力した。また、入居者様ご家族との会話、情報の提供のお願いなどスムーズに行えた。入居者様の起床、就寝などの生活リズムにあったケアの提供では、入居者様に合わせたケア提供が行えた。ライフスタイルの尊重では、フェイスシートやご家族からの情報などにより、その入居者様のライフスタイルや性格、特徴を職員間で認識できた。今後も入居者様の状態の変化に応じて、個別対応に留意していく。

【環境整備】

(1) 個人空間

居室は入居者様の意向や生活環境を尊重した整備を心掛けたが、隅々までの清掃・清潔保持には課題が残った。

(2) リビング

床清掃等は毎日実施し、季節感のある置物やレイアウトを、それぞれのユニットで工夫した。しかし、いつの物が解らない張り紙なども中には見られた。期限のある物などは速やかに撤去し、さらなる清潔感のある空間の提供に取り組んで行く。

(3) ユーティリティ

床清掃は毎日実施し、環境整備については、ユニットリーダーを中心に行った。衛生面・安全面についても、配置の見直しと徹底を行った。

【その他】

(1) クリーンルーム

毎週、清掃員による清掃を行い、清潔に使用出来ている。

(2) 共有スペース

安全な家具の配置、常に同じ位置への配置を心掛け、何時ご家族と入居者様がご利用されても心地よく利用できるよう心掛けた。

(3) 個人情報の取り扱い

フェイスシート等の個人情報のファイルについては、各ユニットで統一した場所で保管・管理を行っている。しかし、パソコンや日々の記録の書類に関しては使

用時以外の管理に問題が見られ、情報管理の視点から、記録類から離れる際にはパソコンのファイルを閉じる、記録等の書類はリビングに放置しない等の、職員の日々の心掛けや注意が必要である。

## 17. 4階

4階主任

### (1) ケアプラン・カンファレンス

入居者様の解決すべき課題やニーズについて、ユニット会議等の話し合いの場を多く活用することで、職員一人一人が入居者様と真剣に向き合い、統一したケアを行う事が出来た。ただし、まだ多くの課題もある為、今後は入居者様の希望や思いを今まで以上にしっかりと汲み取り、より充実した日常生活を送って頂ける様、他職種やご家族とも連携をしながら常に問題意識を持って取り組んでいく必要がある。

### (2) 身体ケア

食事の面では、入居者様個々の身体状況や希望に添った食事形態を検討し、提供を行った。また、誕生会でのおやつレクや希望食などを通じて、楽しみながら食事をして頂く事を心掛けた。ぶこうユニットでは、毎食時にユニット炊飯を行い、入居者様が喜ばれる炊き立ての食事の提供が出来た。

入浴の面では、入居者様一人一人がゆっくりとくつろげる様な入浴の場を提供すると共に、マニュアルに沿った安全面にも重点を置いた入浴方法の検討を行った。また、入浴時に皮膚観察を行い、医務との連携を図りながら、皮膚疾患等の早期発見・悪化の防止に努めた。

排泄の面では、排泄パターンを把握し、出来る限りトイレでの排泄を心掛けながら不快感の軽減に努めた。また、陰部の清潔保持の為、陰部洗浄を徹底して行う事が出来た。褥瘡予防についても、ベッドマットの見直し・変更を行うと共に、除圧用のクッションの使用や体位変換等をこまめに行う事を徹底する事が出来た。

着替えについては、ご本人の訴えや皮膚状態・拘縮の状況などの観点から検討し、無理の無い形で、生活のメリハリや皮膚疾患・感染症の予防にも留意し、更衣を行った。

口腔ケアについては、歯科医師の助言を受けながら用具の変更や口腔内の状態の把握に努めた。また、日頃の状態を報告する事で、往診時の義歯の調節や治療に協力し、気持ちの良い食・住環境の提供に努めた。今後は、開口して頂く事の難しい方や胃瘻を造設された方への口腔ケアについて、より一層歯科医師と連携して清潔保持に努めて行く必要がある。

体調管理面では、食事量・水分量の減少時も、医師や看護師・管理栄養士と連携し、早期に対応することが出来た。

感染予防では、インフルエンザやノロウイルスの流行を最小限にする為に、施設全体でマニュアルや必要物品の保管場所等が整理された。職員もここ数年の経験がしっかりと生かされ、疑いの見られる方に対して医務と連携しながら迅速に対応することが出来き、発生を防げた。

### (3) 精神的ケア



各職員が入居者様とのコミュニケーションを大切にし、不安やストレスの軽減に努めることが出来た。また、個別機能訓練に積極的に取り組み、出来る事が増えていく中で入居者様も自然と笑顔が見られ、大きな喜びを感じられている事を実感出来た。訴える事の出来ない入居者様へも、声掛けやマッサージ等のスキンシップを行う事で、表情の変化や目の動きによって一方的ではないコミュニケーションに努めた。また、日中、居室で過ごされる事の多い入居者様においても、居室内で音楽を楽しんで頂いたり、離床時間を増やしたりしてリビングで過ごして頂く等で、気分転換の場を増やす事が出来た。

#### (4) 社会的ケア

八瀬の里祭りや敬老会を支援して下さるボランティアの方々、また施設周辺への散歩の際にお会いする地域の方々との関わりを通じて、普段とは違った新鮮な雰囲気を楽しまれる入居者様もいらっしゃった。今後は、こちらからも積極的に地域に出て行き、入居者様の生活の中での楽しみを少しでも増やしていけるように努力して行く。

#### (5) 環境整備

居室やリビングの生活空間、車椅子やポータブルトイレ等の個人の使用物については、チェック表を作成し、ユニットリーダーを中心に定期的に清掃を行った。ユニット内の掲示物については、入居者様の目に留まり易い配置とし、飾り付けについては季節を感じるごく自然な物に努めた。キッチン内では危険物(洗剤等の薬品類)が片づけられていない事が多く見られた。今後は、もう一度危険物の取り扱いに関してフロア全体でしっかりと徹底して行く。

### 〔10〕 デイサービス

デイサービス生活相談員

#### 【安心してご利用いただけるデイサービスの運営】

利用者様、ご家族に信頼されるデイサービス作りを目指し、職員の質の強化を図り、細かな気付き及び積極的なヒヤリハットの報告を行い、サービスの可視化を進めた。

職員については外部研修及び接遇会議を実施し、自らの職務の見直し及び新しいレクリエーションの追求を目指した。

#### 【利用内容の明確化】

- ① 新規実調時にサービス利用時の細かな時間及び活動内容の説明
- ② 契約時に見積書(契約時の利用回数を含めた)をお渡しし、ご家族及びケアマネジャーに好評だった。
- ③ ケース記録をパソコン及び紙ベースの両方に記載し、担当者会議及び利用者様各々の受診の際にお役立ちできるよう開示した。

#### 【利用受け入れ態勢の強化】

- ① ご家族、ケアマネジャーのご希望に合った利用曜日を設定し、入浴形態もご本人の意思に沿って実行を受け入れた。

- ② 新規ご利用前の体験利用を強くお勧めし、ご本人・ご家族同意の上で契約させていただき、関係各居宅事業所より強い反響をいただいた。

**【個別援助の充実】**

平成 24 年 4 月より個別機能訓練（Ⅱ）の加算算定に伴い、看護師との新規個別機能訓練計画書及び報告に伴うモニタリング表を作成し、3 ヶ月ごとのモニタリング報告を行った。

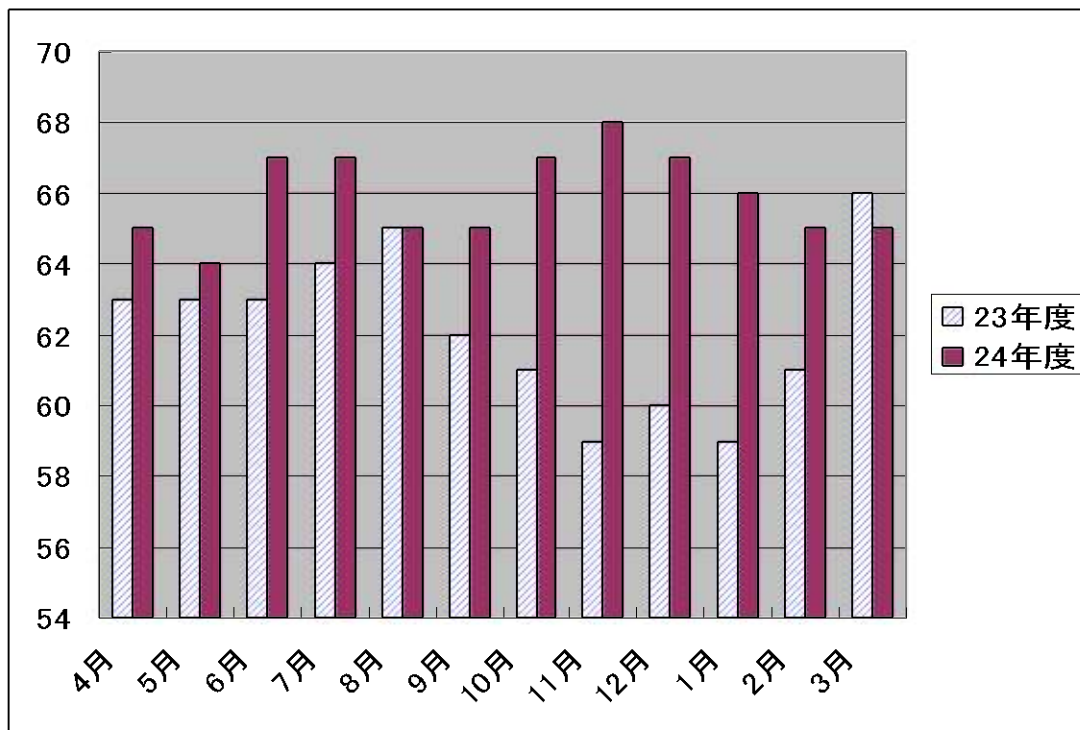
**【事故・ヒヤリハット報告】**

事故の内容を問わず「誰でも解る」報告を行い、ご家族への報告を発生後速やかに行い、事故・ヒヤリハットにおける苦情は無かった。

**実績報告**

登録者数としては平均的に伸びたが、入院・死亡・体調不良者が多く、実績者が減少した。

**登録者数**

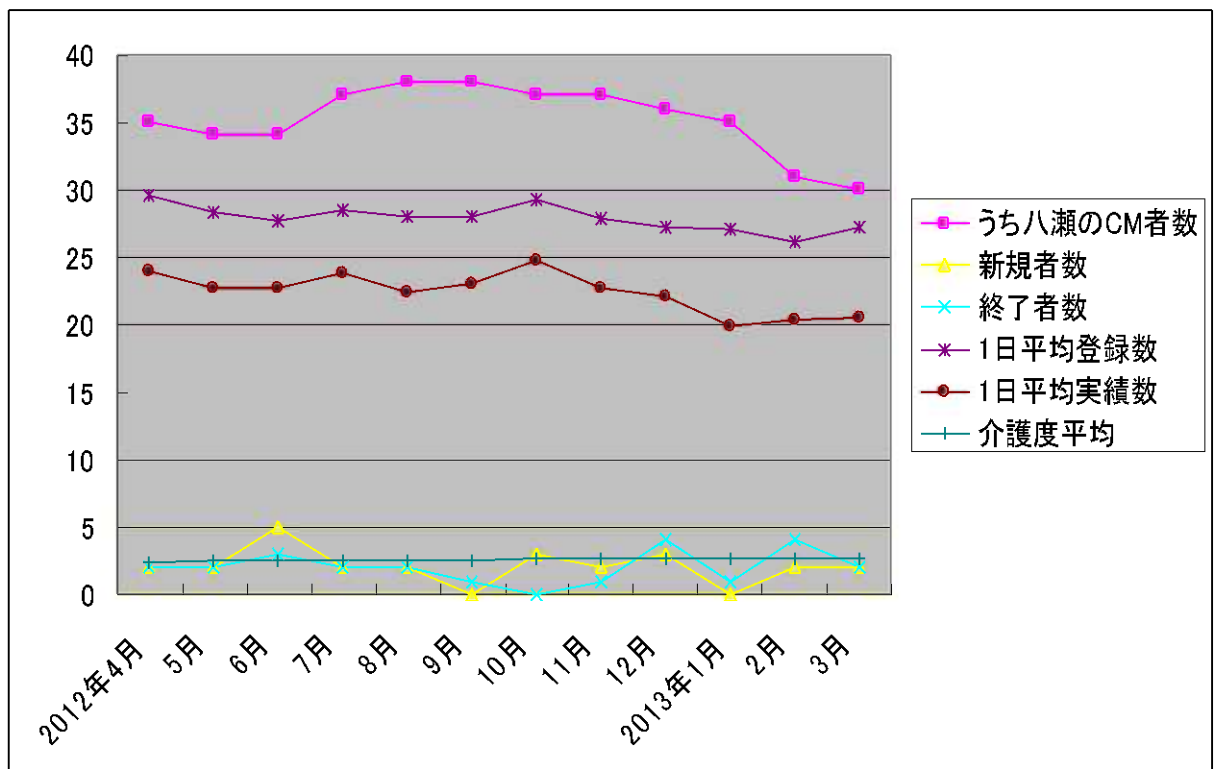
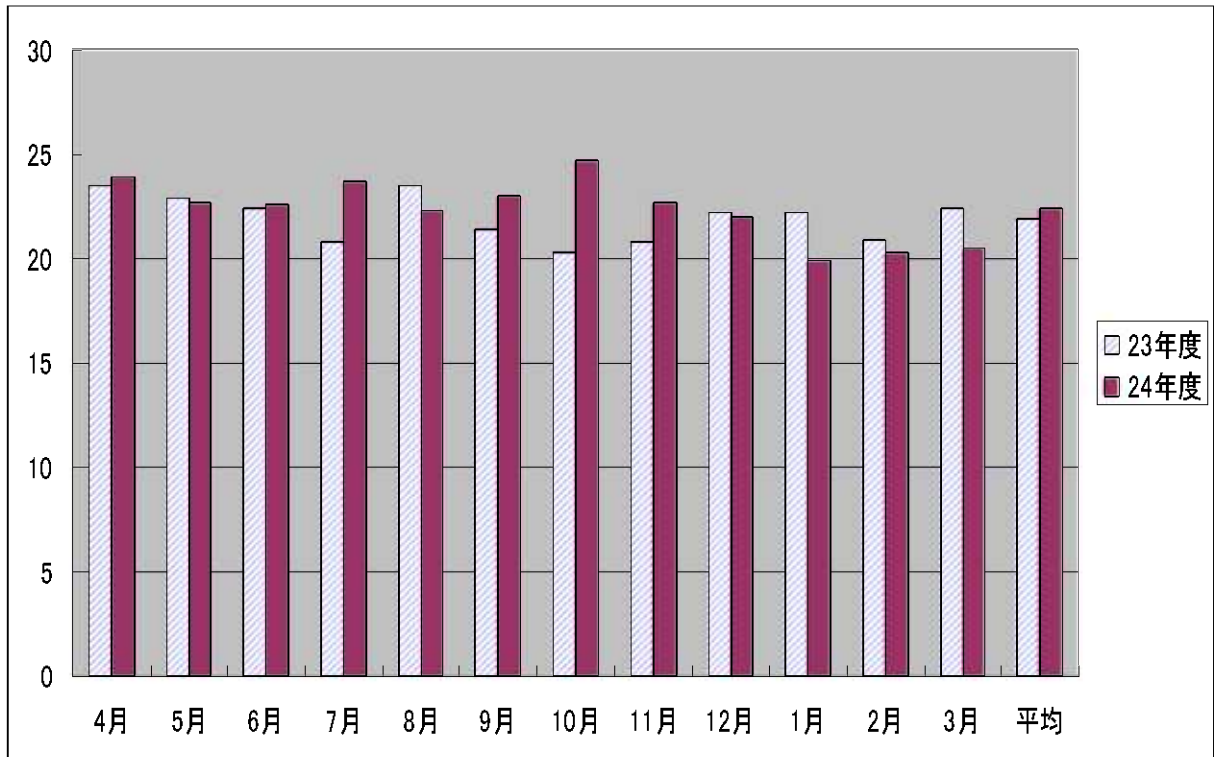


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	63	63	63	64	65	62	61	59	60	59	61	66
24年度	65	64	67	67	65	65	67	68	67	66	65	65

### 営業内容

昨年同様、定期的な居宅支援事業所への挨拶及びPR文の提供を行い、新規事業所からの利用者獲得に努めた。

### 平均実績者数



## 延べ利用者数

平成 24 年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合計(人)	男	288	278	264	296	274	248	262	247	257	226	219	236	3095
総合計(人)	女	298	305	315	299	317	314	365	315	282	221	255	275	3561
総合計(人)	合計	586	583	579	595	591	562	627	562	539	447	474	511	6656

平均介護度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 23 年度		2.4	2.4	2.2	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
平成 24 年度		2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5

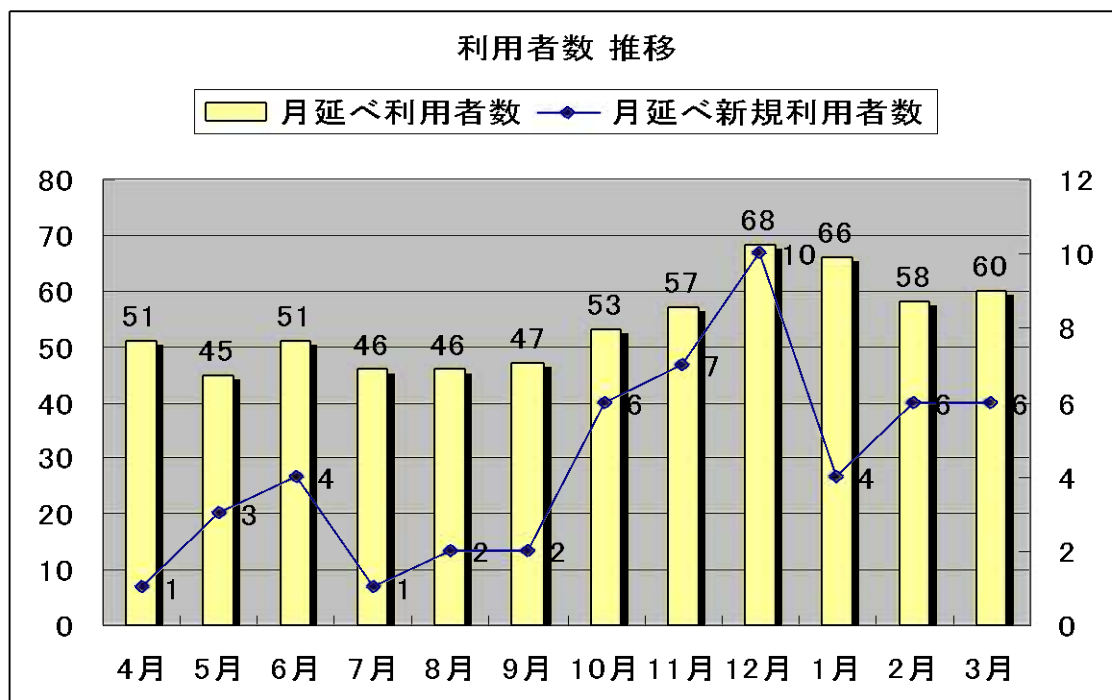
## 〔11〕 ショートステイ

ショートステイ生活相談員

### 【利用実績】

#### 1. 実績推移

##### 1) 利用者数



本年度 10 月から、定床 18 数へ増床し、月延べ利用者数と新規利用者数が併せて増加傾向にある。夏期(8~9月)・年末年始と冬期(12~2月)に関しては、年間通じて利

用ニーズが高い時期であり、約10名の受入が難しく利用機会を失った。年末年始と冬期(12~2月)は、10月中旬より、申し込み及び契約等で48件である。その反面、施設入所を前提に定期かつ中長期利用される方が増え、短期利用(利用日数:4日前後)の微減が目立った。

## 2) 稼働率

本年度10月中旬から、毎月の予約は月末時点で概ね105%以上となり、緊急利用と特養での空床利用の双方で対応することができた。しかしながら、利用者様、ご家族への利用前後に行っている相談援助が、よりの確かつ迅速に行わなければいけない状況が今日まで続いている。また、過去利用者様の情報収集や関係機関(老健等)間での情報交換が併せて求められる。老健入退所にショートステイ利用が大きく関連している。つまり、広域にわたり、ふじみ野市・富士見市・三芳町・入間市・所沢市など市内の関係機関(居宅等)間で留まらないのが現状である。これら一部であるが、利用実績(稼働率)に影響する。

## 3) その他

1日あたりの平均利用者数は、15.26人/日であるが、本年度10月からの増床以後、16.38人/日と今後も増加傾向と見込まれる。当初は、特養での空床利用を併せて運営していたが、それ以前に現在ある床数で、どのようにベッドコントロールを図るかが課題でもあり発見である。利用のキャンセルや変更・延長、中止(入院等)は、概ね毎月50日前後である。これら変動する利用日数を予測可能な範囲とし、以上の定床数-1を導き出した。今後は、入退所が重なる居室において、当該の送迎時間や食事提供数、その他、より適切かつ円滑な運営を中長期にわたり具現化する。

偶発的な特養での空床利用を最大限に積極的に利用できるよう関係部署間との周到な利用日数を計画し利用拡大を図る。本年度10月以降は、空床利用日数が増え、関係部署間の協力と理解が図られた。

## 2. サービス内容の改善と今後の課題

### 1) 居宅サービス計画書の作成

本年度8月からは、居宅サービス計画書に基づき、より緻密なケアプラン作成を行い、適切なサービス提供を行っている。

### 2) 基本サービス内容

#### ①送迎サービス

利用者様の身体状況の把握や理解に努め、乗降車時は安全かつ円滑に実行できている。また、ご家族からの送迎時間の希望にできる限り応えている。

#### ②食事・栄養

利用者様の摂食状況や体調に合わせて、適切な食事形態の検討と実行、水分摂取の促進などを行っている。本年度10月から食費の個別設定により、食事の変更や食止め伝票を積極的に活用し、それらを備忘録として、経営的意識を醸成する。

#### ③排泄

『おむつ外し・下剤ゼロ』への取り組み以前に、基礎介護・看護を習熟しながらも、職員間で切れ目なく適切な排泄ケアを実践する。本来は、在宅サービス間で実現しなければならないのが発端であり、より強く推進する。

#### ④入浴

重要事項説明書より、原則は週に2回は入浴サービスを提供しなければならないが、適切に実行できていないので、今後は改善しなければならない。大きな原因は、健康管理にあるが、主にバイタル測定による経過観察・記録が曖昧かつ不明瞭であり、早期に解決する。

#### ⑤その他

利用者様個々の移動態様に応じることが難しく、歩行補助具類を適切に使用できない時もあり、職員による手引き歩行や近位見守り、声かけ等の介助量の増大が垣間見られ、今後は、ご家族や関係者(担当ケアマネ)間と、密に情報交換や状態報告等をきめ細かく行う必要がある。

口腔ケアの大切さを再認識して、利用中は必要に応じて歯科受診の機会を的確に設けている。

### 3) 運営報告等

#### ①事故統計

本年度8月より事故分析の結果、第一に多いのが転倒事故で、次いで忘れ物・紛失等である。稼働率の増加に伴い、入退所時の繁忙に限らず、所有物の明確な把握と職員間への申し送り等ができず今日まで課題としてある。

転倒事故に関しては、特に夜間帯での巡視のあり方を見直し・検討をした。トイレとベッドでの発生頻度が多く、介助前の利用者様個々の動向や推察、危険察知など瞬時に予測でき、鋭意リスク分析・管理に引き続き徹する。

#### ②予約管理

稼働率が増せば、データ管理はより煩雑で困難なため、改善・対策を求められた。既に対策を講じ実行しているが、これらを予測できていたとはいえ、改善・対策までに時間が掛かってしまい悔やまれる。

今後は、運営上の利用実態・情勢に応じるべく、より分析・統計を細分化し円滑に的確に管理する。

## 〔12〕居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所所長

### 【振り返り、次年度に向けて】

今年度は「在宅生活を大切に、地域と共に。」ということを中心とした計画を立てていた。基本的な援助内容にプラスアルファされた形での「地域」を心がける計画であったが、やや取り組み状況に甘さが見られた。全体的に工夫し、取り組むということに欠けていた1年となってしまった。

#### ○法人内連携

自法人内へのサービス依頼率に大きな変動は見られないものの、まだ依頼可能なパーセンテージである。互いの事業所状況を確認しながらのサービスへの結びつきへの努力を、連携力を強めながら行っていきたい。

#### ○ケアプラン作成と自己研鑽

介護支援専門員として自らの専門性を追及しながら、その知識を利用者様の暮らしへと結び付けられるようなケアプラン作成を努めたが、まだ途中段階という現状である。このことについては、次年度は原点に立ち返った援助ができるように努めていく。

#### ○働き易い職場づくり

1. 職員の入退職があり、利用者様をはじめ法人内を含めた他事業所にも少なからずご迷惑をおかけした部分があることが否めない。改めて働き易い職場づくりを考え、良いサービス提供ができるよう心がけていく。

## 〔13〕ヘルパーステーション

管理者兼サービス提供責任者

### 【平成24年度の介護報酬改定に伴うサービスの変化】

平成24年4月施行の介護保険報酬改定に伴い、生活支援の訪問時間が「45分以内」「45分以上」の2種類に限定され、訪問介護のきめ細やかなサービスの提供が難しくなってしまった。私たち訪問ヘルパーの仕事は「お客様」の隙間の時間を次のステップに繋ぐことであり、そのためにも各事業所と連携を密にしていき、サービスの低下を防ぎ、ヘルパーのスキルアップに努めていきたい。

その他、訪問件数の増加やヘルパー不足等の問題があり、連携がうまく取れないことがあった。その点を反省材料として活かし、複合施設の事業所として事業拡大に努めていく。

#### 平成24年度実績

- ※訪問回数 3294回 (前年度 2515回 30%増)
- ※平均介護度 2.2 (前年度 2.7)
- ※ヘルパー会議毎月開催

平成 24 年度 事業報告書

2013 年（平成 25 年）5 月 26 日 発行・印刷

監修・編集 社会福祉法人 芳清会

印刷・製本 社会福祉法人 芳清会

TEL 049-247-7311

FAX 049-247-7312

URL <http://www.houseikai-y.jp/>

E-mail [yasenosato@houseikai-y.jp](mailto:yasenosato@houseikai-y.jp)